

Let Language Be Your Wings To The World

言葉を究めて世界へはばたく

大阪大学 外国語学部



言葉を究めて 世界へはば



外国語学部長あいさつ

外国語学部の起源は、大阪の実業家・林蝶子
女史の寄付金をもとに、1921年に創設された
「大阪外国語学校」に遡ります。次ページの「外
国語学部とは」にあるように、その後、変遷を
経て、現在では、大阪大学外国語学部として、
国立大学法人の総合大学の中では唯一の外国語
学部となっています。



このような歴史と伝統を有する外国語学部では、表紙にある「言葉を
究めて世界へはばたく (Let Language Be Your Wings To The World)」、
および「言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ (Culture
Through Language, Language Through Culture)」をモットーとして掲
げ、国際社会で通用する人材の育成に取り組んでいます。

最近、「グローバル人材の育成」という言葉を耳にすることが多くなり
ました。つまり、優れた言語能力と異文化理解能力、さらに主体性や積極
性・協調性や柔軟性・使命感を併せ持った人材を育成するということです。

「グローバル人材の育成」というと何か新しいもののように感じられる
かもしれませんが、その理念は、上記のモットーに集約されている学部
理念、つまり言語を通じて外国に関する深い理解を有する有為の人材を
養成するという理念と軌を一にするものです。

外国語学部の特色の一つに、学生の多くが強い海外志向を持っている
ことがあげられます。大阪大学には、大学間の交流協定がいくつもあり
ますが、外国語学部の学生は、交流協定に基づく学生派遣にきわめて積
極的に応募しています。その他にも、毎年数百人規模で、海外留学や語
学研修に海外に出かけています。

言語を習得し、その地域の文化を学ぶことは、「言うは易く行うは難し」
の典型ですが、皆さんも是非、言葉を究めて世界へはばたき、言語を通
して文化を学び、文化を通して言語を学んでください。

大阪大学 外国語学部長 東 明彦



たく



外国語学部とは

私たちがこの地球上で共存していくためには、さまざまな言語文化圏に暮らす者どうしがお互いの異なる点を理解し、その存在を尊重しあうことが大切です。

そのためには、私たち外国語学部は、世界のさまざまな言語を究めること、そしてそれを通して、各地域の文化や社会を深く理解することが必要であると考えています。このような理念にもとづき、外国語学部は、世界各地域の言語とそれを基底とする文化全般について教授し、それを通して、世界各地域の言語・文化・社会に関する深い理解を有し、かつ国際的な活動に必要な幅広い知識と高い教養を備えた人材を養成することを目標としています。

外国語学部の原点は、1921年大阪市上本町に設立された大阪外国語学校にあります。同校は1949年国立学校設置法施行にともない、外国語学部の前身、大阪外国語大学となりました。1979年には、現在の箕面の地に移転し、大学発足当初12であった開設専攻言語も、その後の発展の中で、25言語にまで拡充しました。そして、2007年には大阪大学との統合にともない、大阪外国語大学は、大阪大学外国語学部として再出発しました。

外国語学部へ入学した学生は、4年間の体系的な一貫教育のもとで、各専攻語とそれを基底とする文化や社会を学びます。在学生の多くは、さまざまな機会を利用して、海外での生活を経験しています。そして現在、数多くの卒業生が、学生時代に修得した高度な言語運用能力と世界諸地域についての深い知識を切り札として、世界を見すえて、産業界や学界、教育界の第一線で活躍しています。

外国語学部のあゆみ

1921年（大正10年） 大阪外国語学校創立
1944年（昭和19年） 大阪外事専門学校と改称
1949年（同 24年） 大阪外国語大学設置
1979年（同 54年） 箕面市栗生間谷に移転
2007年（平成19年） 10月1日、大阪大学と統合

CONTENTS

外国語学部長あいさつ…………… 1
外国語学部とは
外国語学部のあゆみ
ネイティブ教員からのメッセージ…………… 3

専攻紹介（P5～29）をご覧ください。



各専攻のアドミッション・ポリシーを
それぞれの紹介ページ冒頭に記載しています。

各専攻紹介ページでは、冒頭に「こんにちは」を意味する言葉をそれぞれの言語の文字表記で載せています。

アドミッション・ポリシー…………… 30
外国語学部のカリキュラム…………… 31
就職状況…………… 32
交換留学制度…………… 33
卒業生からのメッセージ…………… 35
箕面キャンパス施設・設備案内…………… 37
箕面キャンパス所在地経路図…………… 38

ネイティブ教員からのメッセージ



金昌吉先生

中国語 専攻

P5

让我们一起学习汉语吧！
一緒に中国語を勉強しましょう！



ナム先生

朝鮮語 専攻

P6

한국어는 하면 됩니다.
韓国語はやればできます。



オーガンバイヤル先生

モンゴル語 専攻

P7

Сайн байцгаана уу?
Монгол хэл суралцъя, залуус аа.
こんにちは。
モンゴル語と一緒に勉強しましょう。
若者の皆さん。



シュエビーソウ先生

ビルマ語 専攻

P12

မြန်မာစကား အတူတူပြောကြစို့။
ビルマ語と一緒に話しましょう。



サフィトリ先生

インドネシア語 専攻

P8

Mari kita belajar bahasa Indonesia
bersama-sama!
一緒にインドネシア語を学びましょう！



ヨーギー先生

ヒンディー語 専攻

P13

‘हिन्दी’ प्रेम और आत्मीयता की भाषा है। आइए!
हिन्दी के रथ पर सवार होकर सारी दुनियाँ में
आत्मीयता का दिगघोष करें।
「ヒンディー語」は愛と親愛に満ちた言語です。
さあ、一緒にヒンディー語という乗り物に乗って、
全世界に親愛の情を広めましょう！



ロムロ・パークラン先生

フィリピン語 専攻

P9

Sa pag-aaral ng wika,
nagbukas ang mga pinto para sa isip
at puso ng ibang lahi
言語を学ぶとき、
ほかの民族の考えと心に向けて、
いくつもの扉を開くのです。



マルグーブ先生

ウルドゥー語 専攻

P14

اردو شیریں اور خوب صورت زبان ہے۔
آئیے، اردو سیکھیں!
ウルドゥー語は甘美な言葉です。
さあ、ウルドゥー語を学びましょう！



ルンアRUN先生

タイ語 専攻

P10

“เรียนรู้วัฒนธรรมไทยจากการปฏิบัติ”
体験を通してタイ文化を学びましょう。



エル・シャルカーウィー先生

アラビア語 専攻

P15

لَيْسَتْ أَلْفُ الْعَرَبِيَّةِ لُغَةً تَحُلُ أَلْفَ زَمَانٍ،
بَلْ لُغَةٌ نَفَرَأُ وَنَكْتُبُ وَتَتَحَادَثُ بِهَا.
アラビア語は解読する言葉ではありません。
読み、書き、話す言葉です。



トー先生

ベトナム語 専攻

P11

Hãy học tiếng Việt đi!
Việt Nam đang cần các bạn.
ベトナム語を勉強しましょう。
ベトナムが皆さんを待っています。



レザイー先生

ペルシア語 専攻

P16

فارسی شکر است. (ضرب المثل ایرانی)
ペルシア語は甘いことばです。
(イランの諺)



アブドゥルラッハマン先生

トルコ語 専攻

P17

Gelin, birlikte Türkçe öğrenelim!
さあ、一緒にトルコ語を学びましょう!



ザイナブ先生

スワヒリ語 専攻

P18

Tujifunze Kiswahili!
スワヒリ語を勉強しましょう!



カザケーヴィッチ先生

ロシア語 専攻

P19

Давайте изучать
русский язык вместе!
一緒にロシア語を勉強しましょう。



ポルショシュ・レヴェンテ先生

ハンガリー語 専攻

P20

Tanuljunk magyarul!
ハンガリー語を勉強しましょう!



マーティン先生

デンマーク語 専攻

P21

Du bliver kun lykkelig,
hvis du lærer dansk!
幸せになるためのデンマーク語!



ウルフ先生

スウェーデン語 専攻

P22

Upptäck Sverige hos oss!
私たちと一緒に
スウェーデンを発見しよう!



ゼルケ先生

ドイツ語 専攻

P23

Deutschland - Land der Ideen!
ドイツー 理念の国



オドワイヤー先生

英語 専攻

P24

Hello learners! I am very happy to teach mainly academic writing, and reading and discussion classes here. I am very interested in encouraging learners to generally think about the connections between culture and language, among many other topics. In all classes you can develop global personnel/critical thinking skills and it is expected that you firmly take control of your learning. The challenge is waiting for you!



メイリー先生

My name is Ashlyn Moehle. I grew up in the United States of America, where I became interested in foreign languages from a very young age. It was at the University of California that I had my first encounter with Japanese. Here at the School of Foreign Studies, I teach classes that help learners strengthen and refine their use of English to expertly navigate and negotiate in communicative settings. I also lead reading and discussion classes that explore language at various levels of linguistic analysis, providing a glimpse into the dynamic and fascinating nature of a living language like English.

Hi prospective students,

My goal is to help students get the English level they need to study abroad and/or use English in their future careers. In 1st year speaking class, my software identifies what each student needs to learn and displays the materials to learn it. In 2nd year, students learn formal policy debate, presentations and academic writing. In 3rd/4th, I teach classes in various areas like, linguistics, current events, American culture, Internet talks & dramatic speeches, music appreciation, and movie appreciation & acting.



スミス先生



富本ジャニナ先生

フランス語 専攻

P25

Bienvenue dans l'univers de la
langue française!
フランス語の世界へようこそ!



カルディ先生

イタリア語 専攻

P26

Ciao! Studiamo insieme l'italiano e scopriamo
un paese ricco di storia,
tradizioni culinarie e bellezze artistiche!
こんにちは! 歴史、美術、美味しい食文化などの魅力に
溢れるイタリアを発見し、一緒にイタリア語を学びましょう。



ナカガワ マルガリータ先生

スペイン語 専攻

P27

El español te abrirá las puertas
del mundo hispano.
¡Estudiémoslo juntos!

スペイン語は、あなたにスペイン語圏への
ドアを開けてくれます。いっしょに勉強しましょう!



デセン先生

ポルトガル語 専攻

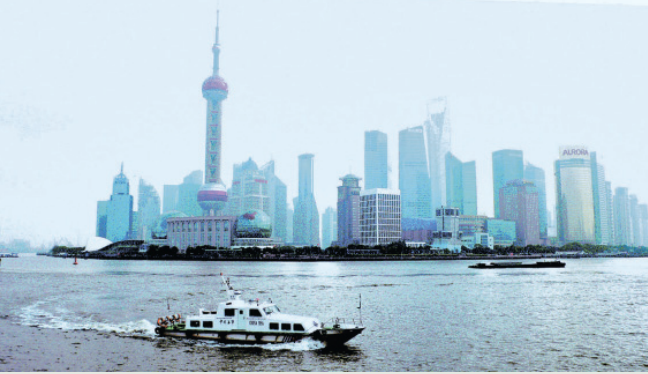
P28

“Olá! Tudo bem? Vamos estudar a
Língua Portuguesa e aprender sobre a
cultura Luso-Brasileira!”

やあ、元気かい?一緒にポルトガル語を学び、
ポルトガルとブラジルの文化を知ろう!

中国語専攻

中国語学習を通じて、中国および中国語圏諸地域の言語、文化、社会についての高度な知識を得たいと考え、そのために深い探究心をもって問題にとりくみ、中国語で積極的に学習や研究の成果を発信することを目標とするような学生を求めています。



外灘から望む浦東のビル群（上海）

あなたが大阪大学に入学してまず出会う中国語は、世界一の13億の人口、世界第3位の広さの国土、56の民族、それに伴う数十の言語をもつ中国と、世界中に広がる華人社会の共通語である言語です。

1年次では、「听」(きく)、「说」(はなす)、「读」(よむ)、「写」(かく)の各技能を総合的に学び、この言語の世界に、どっぷり浸かることになります。

2年次以降は、みなさんの志向次第で、次に挙げのような、さまざまな「中国語」を学びつつ、中国のいろいろな側面に触れることができます。

まず、現代中国の言語・文学・歴史・政治・経済・社会などを学ぶ手段としての中国語。これを学ぶことで、前掲の学問分野に対する基礎的な知識が身につくとともに、あなたの中国語は、より幅広く、知的なものになるでしょう。

また、共通語とはかなり異なった方言である広東語は、あなたの中国語に対する知識を多角的なものにするための、また、独自の歴史・民俗・風土などを知るための、最良の足がかりとなってくれるでしょう。

あるいは、近代から遥か古代へと遡っていく、歴史的な中国語もあります。これを通して、あなたの中国への視点は、時間的な奥行きをもつことでしょう。

3・4年次では、ゼミに所属します。あなたが「どのゼミにしようか」と悩むとき、あなたは、きっと、それまで学んだ、さまざまな中国語が、ゼミでの多様な専門分野の学習に不可欠であったことを知り、今までのハードな勉強は、このためであったかと達成感を覚えてくれるものと、わたしたちは期待しています。



聖ソフィア教会（ハルビン）

「ニイ ハオ」 你好

学生の声



4年 長谷部 佳穂

私が中国語専攻に入ってよかったと思う1番のことは、実際に中国語を使う機会を得ることができるということです。もちろん授業のクオリティの高さも重要であり、ここではハイクオリティな授業を受けることができます。しかし、習うだけが言語学習ではありません。実際にその言語を使わなければ上手くなりません。

私は1年次に上海研修、2年次に台湾研修、3年次には映画の字幕翻訳、そして2年次からずっと語劇に参加しています。研修では、「使う」中国語を学びました。現地での授業、現地の学生との討論、もちろん全て中国語です。実際に使うことで自分の中国語力を最大限に引き出すことができました。

語劇では「みせる」中国語を意識します。中国語が全く分からない観客も多くのいるなかで、いかに中国語で感情を表すか、どうすれば観客に登場人物の気持ちが伝わるか。単に言葉を発するだけではなく、表現する中国語を楽しむことができます。

映画字幕翻訳では、また違う体験ができます。字数制限がある中、読みやすくわかりやすい日本語で且つ文化背景やキャラクターの個性を出さなければなりません。翻訳を通して母国語の大切さも痛感しました。このように、求めれば求めるほど多くのチャンスを与えられ、それを自分の力にできる環境がここにはあります。



留学生体験記



4年 美濃部 友絵

私は今台北・台湾大学に留学しています。留学してから9か月目、自分なりに学んだことを書こうと思います。

台湾人は気さくでフレンドリーな人が多く、皆笑顔で話しかけてくれます。また第2外国語としての日本語履修率も高く、話題には事欠きません。そんな彼らに接していくうちに、自分自身も笑顔でいる時間が増えました。

しかし、当初は中国語があまり聞き取れず、せっかくサークルに行っても、何回も聞き返すのが申し訳なく、尻込みすることも多かったです。しかし、諦めず参加し続けるうちに話が弾むようになり、友達もたくさん出来ました。大学以外の世界も知りたいと思い、二胡を習い始め、近所の公民館のカラオケ大会や小学校で数学を教えるボランティアなど、積極的に現地の活動に参加し、台湾人と接触する機会を増やしました。ネイティブのみの中にとやほり中国語力の不足を感じる時もあります。それでもこちらからコミュニティに入りたいという意欲を見せると、必ず仲間に入れてくれました。とてもありがたく、嬉しかったです。

特に人間関係や文化理解は一定期間現地に滞在してみないと見えないことも多いです。中国語を通して、日本とは少し違った世界、ここでしか会えない人に出会えました。勇気を出せば必ずその見返りがあります。皆さんも一歩踏み出してみてください。



朝鮮語専攻

朝鮮・韓国の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。朝鮮語でコミュニケーションする能力を身につけたい人。日本と朝鮮・韓国間の相互理解を深める架け橋になりたい人。



民族の聖山 白頭山(標高2,750m) 山頂の天池(最深部384m)

受験生のみなさんに、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路について、簡単ではありますが、案内いたします。

教育課程の基本的内容は、学年別にみると次のとおりです。

1年生と2年生は、朝鮮(南北朝鮮)の言語の習得が中心です。朝鮮語の音声組織、文法構造、語彙の習得が朝鮮語実習としておこなわれます。これとともに、朝鮮の言語文化と、近現代の歴史・社会のそれぞれについて、講義があります。3年生と4年生は、朝鮮語の語学力そのもののさらなる向上のために朝鮮語演習があります。これと同時に、朝鮮語を基底とした言語・文化・文学についての講義が進められます。3・4年生ではさらに言語・文化・文学の演習があります。これらの演習では、学生自身が言語・文化・文学の中からタイトルとテーマを設定し、学習、研究を進めます。4年生は、卒業するためには、卒業論文を作成しなければなりません。

朝鮮語専攻の学生は、以上のような教育課程を履修しながら、3、4年生になると海外留学する人が少なくありません。留学先はさまざまですが、大韓民国が中心です。留学先大学での修得単位が、本学での修得単位として認定されることが可能な場合があります。

学生の卒業後の進路は、朝鮮語専攻の前身である大阪外国語大学朝鮮語学科以来、多くの卒業生が商社、販売流通、金融、マスコミ、国際交流、公務員(一般、教職、外務など)その他各界で活躍しています。この就職先の傾向はここ数年も基本的に変わっていないようです。卒業生の中には、大学などで研究に携わっている人もいます。

以上が、朝鮮語専攻の教育課程、学生の海外留学と卒業後進路の概略です。

受験生のみなさん、朝鮮語専攻に入学されることを期待しております。

「アンニョンハシムニカ」 안녕하십니까?

学生の声



3年 北澤 佑介

受験生の皆さん、こんにちは。3年生の北澤佑介といたします。このページを見てくださった皆さんのために、手短にですが朝鮮語専攻について紹介したいと思います。

朝鮮語という言語は、一見するとハングル文字という全く見慣れない文字を使っているので、「難しそう」と思われる人もいるかもしれません。しかし、ハングル文字はとても合理的にできており、その気になれば1週間ほどで文字をマスターすることができます。そして何よりありがたいのが、日本語との共通点がとても多いということです。語順が日本語と同じで、単語さえ覚えていけばどんどん文章が読めるようになります。また、中国から取り入れた漢字語も日本語と同様朝鮮語にもあるので、その点でも日本人にとっては非常にやりやすい言語です。かといって、全く同じかといえば微妙に違うところもあり、その違いを知るのも楽しいです。

また、同じ専攻が20人と少なく、先生との距離も近いので、アットホームな雰囲気です。勉強に励む事ができます。さらに毎年秋にある語劇祭では、先輩、後輩との縦のつながりもできます。留学の制度も整っており、希望すれば韓国名門のソウル大学、延世大学に留学することもできます。

このように、朝鮮

語専攻ではとても充実した学生生活を送ることができます。皆さんも朝鮮語専攻で楽しいキャンパスライフを送りましょう!



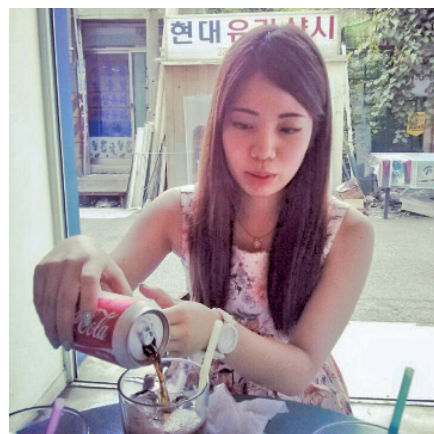
留学生体験記



4年 山口 摩利子

私は3年生の時に、1年間延世大学に留学してきました。私には作曲家になるという将来の目標があります。韓国留学を決意したのも、夢に向かって具体的なアプローチをするためでした。学校の授業では音楽と語学関係の授業を中心に履修し、韓国に根付いた音楽性やK-POPが成功を収めた理由、韓国の音楽業界の仕組みについての知識を深めました。通常の授業以外にも韓国語学堂に通ったり、韓国人の学生と互いの言語を教えあうプログラムに参加したり、作曲サークルの友達との交流を通して実践的な韓国語能力が大きく向上したと思います。独学で学んでいた作曲も、サークルの仲間とともに切磋琢磨することで技術的に成長しただけでなく、一緒に音楽をする仲間がいる幸せを感じることができました。夏休みには運よくプロの作曲家さんと出会い、実際のレコーディング作業等を通してプロの現場を経験することができ、本当に貴重な経験となりました。

留学中つらいこともありましたがその度に韓国の人のあたたかさに励まされ、また頑張ることができました。そうやって得た音楽について語り合える友達や夢を後押ししてくれる人たちとの繋がりは、留学を終えた今も続いています。私はどんな目標であれ、本当に叶えたいと思って行動さえすれば必ず叶うと信じています。みなさんも何か目標があれば迷うことなく行動してみてください。留学はそのための大きなチャンスになると思います。



モンゴル語専攻

モンゴルの言語と文化に強い関心を持ち、モンゴル語を習得してモンゴルの異文化の多様性を積極的に学ぼうとする明確な目的をもった情熱ある人。



ゲルと家畜

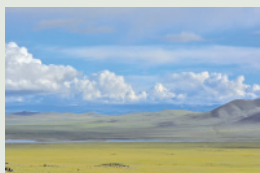
私たちの暮らす東アジアの北に位置するモンゴル国は、1990年代初頭の民主化以降、日本人にとって非常に身近なアジアの一国となりました。それまでの社会主義であった時代には考えられないほど、双方の人々の往来は自由で活発なものとなっています。毎年日本からは、多くの観光客やメディア関係者がモンゴルを訪れ、報道や特集も日常的になっています。また、日本では国技とされる相撲界でのモンゴル人力士の活躍も目覚ましく、連日メディアを賑わせていますが、モンゴル語は、このような私たちにとって身近なアジアの隣人であるモンゴル国の公用語です。

本学モンゴル語専攻では、そのようなモンゴルについて、その言葉の学習を通じて、文化や歴史、自然、民俗、宗教、思想、社会、方言など、関連する様々な方面への理解を深めます。モンゴル語の語順は、日本語と同じくいわゆる SOV 型です。名詞類は日本語の「てにをは」に当たる格変化を持ち、動詞の活用も基本的に規則変化します。英語などと違い、日本語の語順で考え話すことができる、非常に学びやすい言語の一つです。文字は2種類使われています。1つは13世紀にチンギス・ハーンが建てたモンゴル帝国以来800年あまりに渡って使われてきた縦書きのモンゴル文字と、1940年代に新たに導入されたロシア文字基盤のアルファベットですが、その両方を学びます。日本人スタッフとネイティブによる授業で、1-2年次には、生きたモンゴル語を基礎からしっかり身につけます。3-4年次には、学んだそのモンゴル語を生かして、卒業論文の作成等を目指し、各人の興味ある分野をより突き詰めて研究できるようなカリキュラムになっています。

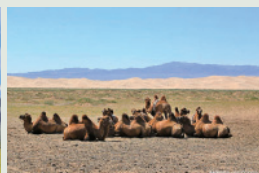
本学での学生生活は、1年次には豊中キャンパスで、2年次以降は箕面キャンパスで勉強します。大学内では、各種クラブ活動やサークルに参加したり、在学中に休学して、モンゴルや中国、英語圏などへ留学し、語学力等の向上を目指す意欲的な学生もいます。

本学モンゴル語専攻は、旧大阪外国語大学モンゴル語科を引き継ぎ、大阪外国語学校以来九十余年の長きにわたる歴史を持っています。特に作家、故司馬遼太郎氏の出身としても知られてきましたが、卒業後の進路に関しては、そういった文筆活動のみならず、大学でのキャリアを生かし、外務省をはじめ JICA や、新聞社などの海外特派員、企業の駐在員といった、国際舞台に活動の場を見出した人も多くいます。また、教育者となって全国各地で教鞭をとったり、進学して研究者になったりと様々ですが、就職状況も例年概して良好です。

皆さん、一緒にモンゴル語を学びましょう。



草原と湖



ラクダとゴビ砂漠

「サイン バイノー」



学生の声



3年 植村 友祐

モンゴル語を学ぶ、というのは皆さんにはどう映るでしょうか。「今までモンゴルのことなんて考えたこともないよ」という方もおられるかもしれません。私自身、モンゴルについては高校の世界史の授業で少し扱ったくらいしか知りませんでした。とはいえ、モンゴルと言えば、相撲、遊牧、草原…といったボンヤリとしたイメージを持っている方も多いかと思います。しかし、こうしたモンゴルへのイメージの多くは、モンゴルの「断片」でしかないのです。

モンゴルは今、急激に発展しています。美しい草原の地では、伝統的な遊牧生活続ける遊牧民がいる一方で、首都では高層ビルが立ち並び、オシャレな服を着て歩く若者が目立ちます。しかし、遊牧民は現代生活に馴染めないわけではありません。一度モンゴルの移動式住居ゲルを覗いてみれば、ソーラーパネルで電力を供給し、テレビを見たり、スマホを使ったりしている姿が目飛び込んできます。私たちが勝手に持ってしまうイメージは、モンゴル、いや世界では通用しないことが多々あるのです。

私がモンゴル語専攻に入学を決めたのは、単に相撲が好きだから、という単純な理由でしたが、モンゴルのことを学んで、自分が生きてきた世界がいかに狭かったかを実感し、もっと多くのことを知りたいと思うようになりました。皆さんも広大なモンゴルに思いを馳せ、司馬遼太郎先生の後輩として歴史に名を残し、新たな発見の連続に身を浸してみませんか。



留学生体験記



3年 外賀 葵

私は1年生の8月と2年生の3月の2回、モンゴル国に滞在しました。

1度目の滞在では、日本語の全く通じないところに一人でホームステイをし、見るもの聞くものすべてがモンゴル語という中で、観光地に連れて行ってもらったり、草原で子どもたちと走り回ったりしました。拙いモンゴル語でも通じた時は、言葉が通じなくても生活を共にすれば気持ちは伝わるものだと言葉を学ぶことの大切さと、言葉以外のものの大切さの両方を実感することができました。おかげで専攻語へのモチベーションが高まっただけでなく、今までの自分を見つめなおすきっかけにもなりました。

2度目の滞在では、日本語教師の方の手助けを得つつ、日本語学部の大学生との交流や日本語教室で授業のお手伝い、田舎へ行って約一週間遊牧の仕事をするなど様々な経験をしました。また、モンゴルで日本語を学んでいる人たちと伝統的な遊びや両国の料理でパーティーをしたり、文化の違いを体感しつつ楽しい時間を過ごし友達もたくさんできました。田舎ではこれまで勉強したことを生かし、ホームステイ先の家族とたくさん話をしました。元気いっぱい笑顔のかわいい子どもたちと一緒に家畜を追った時間は最高に開放的で楽しい時間でした。

現地を訪れると、必ず新しい発見があります。日本の授業だけでは想像できない奥深さを実感できます。ぜひ、訪れてみてください。



インドネシア語専攻

新しい世界への限らない関心を抱き、知らなかったことを知る喜びを求める若者にとって、大きくて深いインドネシアは「やってよかった!」と思える国。既成の概念を越える柔軟な思考をもつ学生を求めます。



アチェの中央モスク

インドネシアは約2億4千万人（世界第4位）の人口をもつ、東南アジアの群島国家です。1945年に独立を宣言しました。

インドネシア語は、マレー語を母体として独自の発展をとげた、インドネシアの国語です。ローマ字で表記され、文法も難しくないので、今では全国に普及しています。一方、インドネシアには数百の地方語があり、日常生活においてはインドネシア語と共にそれぞれの地方語が使われています。

広大な国土と多様な民族集団をもつインドネシアに関して、私たちは何を学ぶことができるでしょうか。

歴史をひもとけば、ヒンドゥー・イスラム諸王朝の時代、オランダ植民地時代、日本占領時代、そして独立後の激動の歴史が私たちを惹きつけます。1998年の民主化を経て、インドネシアは新しい時代を迎えています。

各地に目を向ければ、多様な文化と社会があります。スマトラ島には母系制で知られるミナンカバウ人、カリマンタン島には「森の民」といわれるダヤク人、スラウェシ島にはかつて海洋王国を築いたマカッサル人、ニューギニア島にはパプアの人びとがいます。また、ジャワ、バリをはじめ、各地の絢爛たる芸術・文学は多くの人々を魅了し続けています。さらに、現代の芸術、文学、ポピュラー・カルチャーは同時代を写す鏡として興味深いものです。

今日、インドネシア社会は、グローバル化の波の中で、変化をとげつつあります。経済が急速に発展する一方で広まった格差の是正、開発と環境のバランス、多宗教・多民族共存などが課題としてあります。

何を学ぶにせよ、インドネシア語は基礎となります。しっかりと言葉を学び、本当のインドネシアに触れる旅に出かけましょう。広く、大きく、多様なインドネシアは、私たちに多くの生きる手がかりを与えてくれるでしょう。



首都ジャカルタ



インドネシアの子供達

「スラマツ シアン」

Selamat siang

学生の声



3年 松本 勇輔

インドネシアは、約1万3000もの島がある世界最大の島嶼国家で、人口は2億3000万人を超える世界第4位の規模があり、民族文化は非常に多種多様です。一方、首都ジャカルタなどの都市では高層ビルが立ち並び、近年急速な発展を遂げており、日系の企業も数多く進出しています。インドネシアは今後の経済発展が望まれる国として、とても勉強のしがいのある国です。

インドネシア語専攻は1クラスの人数が12、3人の非常に小規模な専攻です。そのため、先生や学生同士との距離が非常に近いです。授業も受動的なものではなく、先生との対話が行える授業形態が多いです。全く新しい言語を学ぶ環境として、主体的に学べるこのインドネシア語専攻の環境は非常に良いものではないかと思います。また、3、4年生になると留学する学生も多く、インドネシアに対する学生の学習意識も高いように感じます。

僕は1年生の夏に、専攻の皆と合宿でジャカルタと古都ジョグジャカルタに行きました。実際に現地に行くことでしか感じられない独特なインドネシアの雰囲気を感じられたことに加え、世界遺産や舞台芸術などを見学したり、今まで学んできたインドネシア語を用いて現地の学生と議論を交わしたりする時間もありました。現地の学生と仲良くなることもでき、参加者一人一人にとって最高の経験になりました。



留学生体験記



4年 西村 美咲

みなさんにとって、インドネシアとはどういう国ですか。あまり馴染みのない国かもしれませんが、しかし、多くのインドネシア人にとって日本は遠い国ではないのです。「オシン!」「アジノモト!」「ココロノトモ〜!!」私が歩いていると、道端の人々がこう連発します。そんなインドネシアの人々は、ときにおせっかいなほど優しく、「人と人との距離」が近いです。私は一年間現地に留学していました。道に迷ったと言えば、わらわらと人が集まってきて道を教えてくれます。もうこれ以上食べられないといっても、「遠慮しないで」とご飯を出してくれます。入院をすれば、毎晩付き添ってくれました。友人ゼロからスタートした留学生活でしたが、気がつけばいつも友人に囲まれ、いつしかインドネシア人に間違われるほど現地に馴染んでいたのです。

印象に残っているのが、ラマダン（断食月）に断食に誘われたことです。毎朝4時に友人に起こされて朝食をとり、その後は日没まで一緒に断食です。空腹とのどの渴きでフラフラでしたが、彼らのイスラム教徒としての価値観や世界観が肌で感じられ、思った以上に楽しくて思い出に残っています。

全てが新しく刺激的な毎日と現地の人々の温かさを思い返し、留学していた日々がたまらなく懐かしくなることがあります。インドネシアは、表面的に見つめるだけでは感じられない奥深さを持っています。ぜひ一緒にインドネシアについて学んでみませんか。



フィリピン語専攻

フィリピンの人・ことば・文化に関する研究テーマを多様な学問的視点から考え、それを卒業論文として自らのことばで表現し、私たちが暮らす市民社会に向けて積極的に発信したいと思っている人。研究テーマを深めるために、フィリピン語の言語能力を高める努力を惜しまない人。



オフィス街の聖母マリア像

Sayang…… “Ubusin mo iyan, sayang, e.” 「もったいないから食べてしまいなさい。」フィリピンの家庭に食事に招かれるとよく言われます。

“Busog na ako.” 「いえいえもういっぱいです。」おかずを少し残して感謝の意を示すのが、フィリピンでの奥ゆかしさです。

語尾の ng は「ング」ではなく、「ン」と発音して口を軽くあげ、音を鼻にぬきます。「サーヤン」です。ng 以外の部分は、ローマ字読みしてやればよく、新たに文字を覚える必要がないことに加えて、フィリピン語を学びやすいものにしています。

Sayang という語の後は、そこはかたない気持ちが残ります。それは Filipinas (フィリピン) の輝きと驕りを映し出しています。

Tao 人……Filipinas は、地球上のいたるところに広がる人を除けば資源のない国です。経済大国でも、ましてや軍事大国でもありません。その名は、スペイン・ハブスブルグ王朝のフェリペ王子の名に由来しています。

スペイン人が来る前、Filipinas には、多くの民族が住んでいました。現在でもその数は 150 を下らないと言われます。そのなかには、キリスト教徒、ムスリム、さらに人口規模の小さい少数民族が含まれています。少数民族のなかには、グローバリゼーションの下でアイデンティティのみならず、存在の危機に瀕している民族もあります。自然環境を失い、文化や言語を失い、アイデンティティを失うことで、生殖能力まで失いつつあるのです。

同じことは、海外に移住したフィリピン人にも言えます。現在、日本の小中学校では多くのフィリピン人児童生徒が学んでいます。彼ら、彼女らは、学齢期の途中でフィリピンから日本に移り住むことが多く、日本語はもちろん母語についても十分な表現力を獲得できないセミリンガル状態に陥ることがあります。

こうした問題は、フィリピンの人々のみが直面する問題ではありません。グローバリゼーションのなかで私たちもまた同じように文化の問題、言語の問題、アイデンティティの問題に直面しているのではないのでしょうか。

Pag-asa 希望……フィリピン語専攻では、フィリピンの人々と私たちが共有している問題を、皆さんの生き方を通して考えていく姿勢を養って欲しいと考えています。そうした問題は、容易には解決できず、私たちに閉塞感や無力感をもたらすかもしれません。民族紛争のように白黒をつけてはいけな場合もあるかも知れませんが、フィリピン語専攻の教育プログラムは、教室のなかだけの語学に留まらず、多方向的なコミュニケーションの場を創造し、現実的、現場的視点に立って困難な問題に粘り強く取り組むことのできるリーダーシップを育てたいと思っています。

「クマイン カナバ」

Kumain ka na ba? (もう食べましたか)

学生の声



3年 三田 詩織

フィリピン語専攻は、1 学年の人数が少ないのが特徴です。1、2 年生の頃は全員で受けるフィリピン語の授業が週 5 コマあるので、本当に仲が良かったです。

フィリピン語はアルファベット表記で、発音もローマ字読みするものが多いため、比較的取り組みやすい言語です。文法は、英語とも日本語とも全く異なりますが、使える語法が増えてくると楽しく学ぶことができます。また、学祭などでフィリピンの人に出会ったとき、フィリピン語を学んでいると伝えるととても喜んでくれます。

言語だけでなく、フィリピンの文化に触れる機会もたくさんあります。フィリピン料理をごちそうしてもらったり、夏まつりではみんなでフィリピン料理を作り販売しました。1 番思い出に残っているのは、語劇です。台本を考えるところから、翻訳、衣装、道具など、先生や先輩の協力のもとすべて自分たちで作り、フィリピン語で演じました。セリフを覚えることは大変で、フィリピン語らしい発音に仕上げていくのは本当に苦労しました。ネイティブの先生に発音や演技の指導をしていただき、本番を終えた時には全員が色々な面で成長できたように感じました。

フィリピン語を学ぶことで、今まで知らなかったフィリピンの社会や文化についてたくさん発見することができます。そんなフィリピンの魅力に惹かれ、留学する人もたくさんいます。



留学生体験記



3年 福原 恵

私は、フィリピンのマニラにある国立フィリピン大学で約 1 年間勉強しました。現地の学生は発言も積極的でプレゼンテーションのスキルも大変優れており、刺激を受けました。楽しい時は思いっきり楽しんで、勉強などやる時は集中して取り組んでいる姿勢がとても印象的です。

フィリピンに進出する日本企業は多いですが、フィリピン語を話せる人が少ないことから通訳兼ボランティアとして台風被災地のタクロバンに行かせていただいたり、日本語の授業やイベントのアシスタントなどもさせていただき、貴重な経験をさせていただきました。

フィリピン人は気さくで明るく温かいので、あっという間に打ち解け合えます。ホストファミリーは私を家族のようにむかえてくれました。週末やイベントの時は親戚が集まり美味しい料理に笑いの絶えないパーティーが開かれ、フィリピン人の家族愛の強さを感じました。

南国のイメージ通り果物やストリートフードは安くて美味しく、週末は海や山など旅行もできます。

勉強面でも学んだことはもちろん内面的にも大きく成長できたので、フィリピンに留学をして本当に良かったと心から思います。そして、日本を離れて改めて周りの方々のサポートのありがたさに気づかされました。フィリピンだからこそ経験できることが、きっとあなたを成長させてくれるはずです。



タイ語専攻

🌐 タイ語による実践的コミュニケーションの能力を養い、かつそれを基礎にタイの社会的文化的ダイナミズムに対する深い洞察力を身につけたいと考える人。



タイといえば稲作・象・ムエタイ・仏教寺院というイメージを持つ人が多いと思いますが、現在のタイ国は、農林漁業就労者の人口が全就労人口の50%を割り、工業化とサービス産業を中心とした経済成長を遂げている「中進国」です。このようなタイの経済・工業化にもっとも深く関わっている国が日本です。たとえば、タイの自動車産業は東南アジアの中心的役割を担っていますが、日本の大手自動車・自動車部品メーカーがそれを支えています。

タイは、豊かな自然環境、開放的で自由な雰囲気、安定した社会体制、物価の安さなど、外国人にとっても大変居心地の良い国でもあり、タイを訪れる日本人観光客は年間100万人を超えます。長期滞在をする日本人の数も届出だけで4万4千人、短期滞在ビザで長期滞在する人を含めると、6万～7万人の日本人がタイの様々な分野で活動しています。また日本国内には、留学生を含むタイ人長期滞在者が4万人以上居住しています。このように、日本とタイは人的交流の上でも密接な関係を持っており、60数年の歴史を持つタイ語専攻の卒業生は、日タイ間の架け橋として、日系企業の駐在員、日本政府関係の職員、大学・高校の日本語教師など、タイ国の各方面で多数活躍をしています。バンコクと同窓会の活動は、他の大学の同窓会に比べて大規模で活発です。

タイ語専攻では、タイ語の運用能力を養いながら、タイについての総合的な知識を学ぶためのカリキュラムを組んでいます。1・2年次にタイ語の基礎を学び、その上で3・4年次にはタイの言語、社会・文化、政治・経済、文学、歴史について専門的に学べるようになっていきます。また、交換留学の協定を結んでいる大学が多いので、3・4年次にタイの大学に留学する学生も多数います。外国語学部をはじめ、大阪大学に留学しているタイ人留学生との交流も盛んで、授業だけではなく、キャンパスライフの中でタイの人と接する機会が多いのも特徴です。

「サワディー」

สวัสดี

学生の声



3年 中谷 直樹

自分自身、日々タイ語専攻でよかったと思って過ごしています。それには、2つの「繋がり」が関係しています。

一つ目の「繋がり」は、タイ語専攻内つまり同回生と先輩後輩の繋がりが強いことです。誕生日を祝いあったり、学業や留学に関する情報を密に交換し合ったり、さらにはご飯に連れて行ってもらったりなど、特に仲の良さが際立つ専攻だと自覚しています。タイ語専攻にいる時が一番心地よいと思えることは間違いのないでしょう。特に、毎年夏に行くタイへの研修旅行がさらにその仲を深めてくれます。

二つ目の「繋がり」は、留学生との繋がりで。私自身、言語は教室の中だけでは到底マスターできるものではないと考えているので、その点この留学生との密な関係というのは大変な強みだと思っています。タイ人というのは、国民性として明るく陽気で、留学生たち自身も皆仲良くなっており、そして我々タイ語専攻とは毎年新しい人が来るたびにまた新しく友達になり、旅行・日々の食堂での食事・雑談などをしています。彼らとパーティーを開催した数はもう両手では数え切れない程です。この中で、確実にタイ語が上達していると日々感じています。

このような「繋がり」を通した大学生生活を送りたい人は是非タイ語専攻を選んでください。最後にですが、就職に関してはOB・OGの方々のお墨付きで、成長市場のタイでは大船に乗った気でいられるそうです。こんな専攻語は他にはありません。



留学生体験記



4年 酒井 聡里

私は交換留学制度を利用し、10ヶ月間ナコンパトム県にあるシラパコン大学に留学しました。首都バンコクではなく地方を選んだのは、タイ語のみしか通じない環境がそこにはあると考えたからです。到着したその日から、タイ人3人と寮生活が始まります。タイ語にある程度の自信はありましたが、「たらい」「断水」「魔除け」そんな言葉誰が習って来るでしょうか。初日に言葉を知ること生活・文化を知ることだということを痛感しました。

7日目からは授業・課題などを、もちろんタイ語で現地生と同じものをこなさなければなりません。初回の授業で宿題さえも聞き取れず、次の回に点数を引かれたり、徹夜で書いた文章が真っ赤になって戻ってきたり。初めは苦勞し、泣いてルームメイトがなだめてくれたこともありましたが。しかし人間は成長するものです。1学期末、私の書いたスピーチが原稿の書き方の見本として授業教材になりました。2学期には、ドラマ撮影や日本語教育などの思いがけない仕事が入ってくるようになりました。そして帰国前には県知事の同時通訳もさせていただきました。タイにしているとタイ語が話せる日本人というだけでとても喜ばれ、様々なチャンスが降ってきます。

「留学」それは言語を上達させるのみでなく、あなたの中に眠っている無限の可能性を引き出す良いチャンスです。タイ語専攻は多くの留学枠があります。是非、一人でも多くの方に留学にチャレンジしていただきたいです。



ベトナム語専攻

ベトナムに強い関心を持ち、ベトナムの言語と文化の学習に意欲的な人。そして、学んだことを活かして、国際的な仕事に就きたい人。



ベトナム社会主義共和国は東南アジア大陸部の中で8700万人という多数の人口を誇り、急速な経済成長を遂げる文字通り「元気」な国の代表です。そして我がベトナム語専攻は、大阪外国語大学時代の古き良き伝統を維持しつつ、新しい時代に向かって進化を遂げ続ける、本国に負けない「元気」な専攻の一つです。

古き良き伝統とは、まず「大家族ベトナム Dai gia dinh Viet Nam」を正に体现する専攻内の結束の強さです。これはベトナム戦争を勝ち抜いたベトナム民族の結束とその力強さを誰もが学ぼうとする気持ちの現れとものとれます。ベトナム人留学生と日本人学生とが肩を寄せ合って一緒に勉学する姿もベトナム語専攻の特徴の一つです。初級・中級を終えた3、4年生の授業では、ベトナム人と日本人と一緒に参加する授業がいくつかあります。そこでは、互いにベトナム語で議論する光景がしばしば見られます。日本にいなから常にベトナムを感じつつ、ベトナムの良さを学ぼうとする学生で溢れています。また、ベトナムの誇る「孝客 hieu khach」（客をもてなす）文化もちゃんとここにはあります。分け隔てなく客人をもてなす上級生達が、皆さん新入生を心から手厚く歓迎してくれることでしょう。

ところで、ベトナムと日本の関係は意外と古く「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」の歌でお馴染みの阿倍仲麻呂の時代にさかのぼります。中国で科擧の試験に合格し官僚となった仲麻呂は、当時安南都護府と呼ばれた地に趣きます。そこは取りも直さず今のベトナムの首都ハノイの辺りだと言われています。今のベトナムに目を向けても、箸や爪楊枝を使い、米を主食とする食文化、かつては漢字を使った歴史、誰もが認める「勤勉さ」に加えて、日本語の敬語にも通ずる相手を気遣う言葉使い、昔どこかで見かけた様な田園風景など、我々日本人が自分のルーツを探ろうとする時、一度はそこに立ち止まりたくなることばかりです。「水を飲んで源を思う Uong nước nhớ nguồn.」日本人として知るべきことの多くを教えてください。大切な国です。

「家に入っては俗に随え Nhap gia tuy tục」ベトナムに興味のある人はもちろん、選択に迷っている諸君も、まずはここに身を置いて、その空気を思う存分吸ってみて下さい。必ず有意義な学生生活が待っていることを約束します。

最後に言い忘れましたが、ベトナム語専攻では女性陣の声が大きく嬉しいことも彼国と同じです。「一に奥さん、二に神さん Nhat vo, Nhi troi」男性諸君、負けずに頑張ってください。

「シーン チャーウ カーック バーン」 Xin chào các bạn!

学生の声

2年 芦田 春香
2年 早川 彩織

ベトナム語専攻の魅力は何といってもアットホームさ。少人数クラスなので生徒同士の距離が近く、明るくエネルギー満ちた教授方との授業は本当に楽しいです。その場にいるだけで自然と笑顔になる、そんな雰囲気になっています。行事も多く、ベトナム料理を作って食べる試食会やアオザイを着て踊る民族衣装コレクション、ベトナム語劇などを通してベトナムの文化に親しむことが出来ます。

ベトナムの人はとても温かく、心からの笑顔が本当に素敵な人達です。一年生を終える頃にはベトナムのことが大好きになります。さらに一回生は、夏休みにハノイ人文社会科学大学で約三週間の留学を行います。たった半年勉強しただけで、ベトナム語が通じるのだろうか？と思う方もいるかもしれませんが、心配はありません。この三週間の留学体験は非常に刺激的です。バイクが多く通る道を横切ったり、現地の大学生と友達になったり、ベトナム語を必死に駆使して買い物をしたりタクシーに乗ったり…と、日本では決して経験できないような貴重な体験が出来ます。地元のお店で、ベトナム人の友達とベトナム語でお喋りしながら食べるベトナム料理の美味しさは格別ですよ。

活気溢れるベトナムを肌で感じ、私達もこの留学を機により一層ベトナム語に対する意欲が高まりました。皆さんと一緒にベトナム語を学べることを楽しみにしています。

Hẹn gặp lại ở lớp khoa Việt Nam học ! (ベトナム語専攻の教室でまた会いましょう！)



留学生体験記

4年 岡村 瞳

ベトナム語は声調が6つあり、発音が難しい言語の一つです。ベトナム語は音楽的な言語で音が非常に大切なので、声調を1つでも間違えると全く通じません。そのため、ベトナム語を正確に聞き取り、発音する必要があります。ベトナム留学中は、家で机に向かうことよりも外に出て行って多くの人と会話することに重きを置きました。

私は大学の寮で一人暮らしをしていましたが、寮の近くのコムビンザン（大衆食堂）やシントー（果物や野菜のスモージー）屋さん、洗濯屋さんへほぼ毎日会話をしに行きました。そこで知り合った人たちはベトナムのことをたくさん教えてくれました。卵、野菜、肉を売る商いや料理を手伝ってくれたり、バイクで家に連れて行ってもらうと夜ご飯をご馳走してくれて、お泊りもして子どもの世話もしました。テト（ベトナムの正月）には、友達の故郷と一緒に帰って家族とテトを迎え、リーシー（お年玉）ももらいました。そんな中ですっかりベトナムの生活に溶け込んでいきました。

語学面でも生活面でも何度も困難にぶち当たりつらいと思うこともありましたが、ベトナムの人々は日本から突然やってきた私を家族・親友のように温かな心で接し受け入れてくれました。帰国した日、家の前で突然大量の涙があふれ出ました。語学力の向上は然ることながら言葉にならないほどの素敵な思い出を私の心に残してくれました。



ビルマ語専攻

異言語を学ぶことは異文化を体験することです。ビルマ語の勉強を通して、ミャンマーの土地に育まれた人々の生活やものの考え方に触れ、異文化について深く考えてみたい人を歓迎します。



あるお寺の境内で出会った子どもたち
(モン州モーラミヤイン市、2003年2月)

「おもしろい文字ですね」

「目の検査のようですね」

検眼表の円い図形や知恵の環を思い起こさせるユーモラスなビルマ文字で書かれたビルマ語は、ミャンマー連邦(1989年対外的な英語呼称 Burma を Myanmar に変更)の公用語であり、6,242万(2011年推計)国民の共通語(母語人口はその4分の3強)です。

ビルマ語の最古の文献は通称ミャゼディ碑文(1112年)で、四面体の石柱にバガン朝のチャンシッター王の遺徳を讃えた顕彰碑がモン語・パーリ語・ピュー語・ビルマ語の4つの言語で刻されています。今では死語となったピュー語が含まれていることから、この碑文は「ビルマのロゼッタ石」と呼ばれたことがあります。

ビルマ語の話し手の社会は、インド文明とシナ文明の影響を受けた点で、また、稲作文化を基調とする点で、東南アジアのほかの地域との共通性をもっています。宗教的には、南伝上座部仏教を信仰する人たちの社会と、社会規範や価値観を共有しています。さらには、少数民族との接触による文化の相互作用も、東南アジア大陸部に共通にみられる現象です。こういった関心は、遠く北方の雲南・貴州の地の人々の文化にも私たちを誘ってくれるでしょう。

ビルマ語を専攻言語として選ぶ人たちは、当然のことながら、まず、ビルマ語の運用能力を身につけることが求められます。そして、その背後にある基層文化を言語・文化・社会の各面にわたって、総合的に学ぶこととなります。また、関連する言語として、チベット語のほか、カレン語など少数民族の言語も学ぶことができます。

(注:「ビルマ」という地名は、幕末の地理書で、眞作省吾の『坤輿図識』(1845年)にみえる「毘爾滿」を嚆矢とするようである。—平田由美氏の教示による)



ミャゼディ碑文
(バガン博物館蔵のA碑文)

「タミンサーピーバーラー」

ထမင်းစားပြီးပြီလား။ (食事をすませましたか)

学生の声



3年 森下 聡美

ミンガラバー! (こんにちは!) 近年、ミャンマーに関するニュースが取り上げられることが多くなり、関心が向いている人も多いのではないかと思います。皆さんはミャンマーと言ったら何を連想しますか?—アウンサンスーチー女史、暑い国、仏教、ビルマの竪琴、少数民族、など…。一風変わった“黄金の国”ミャンマーの言語や文化、社会を私たちは学んでいます。

ビルマ語は、視力検査のまるのようなビルマ文字が使用され、ビルマ族を中心としたミャンマー国内で話されていて語順は日本語に似ている、といった特徴を持ちます。ビルマ文字を覚えるのは一苦労ですが、入学して数か月後にはあの丸くて謎めいた文字をスラスラ読めるようになっていと思うとワクワクしませんか?

写真は、友人とミャンマーへ初めて旅行をしたときのものです。顔に塗っているのはタナカーと言い、清涼感のある天然の日焼け止めのようなものです。ミャンマーでは子供からお年寄りまでがこのタナカーを塗っていて、上手に絵を描いている人もいて、とても可愛いです。一緒に写っているのはお土産屋さんのお嬢さん。私のたどたどしいビルマ語を一生懸命聞いてくださっていたのを覚えています。

ビルマ語専攻に入っ理由は人様々ですが、みんなミャンマーの魅力にどっぷりとはまっています。一緒にミャンマーについて学びませんか?



留学生体験記



4年 平野 正幸

私は2013年の12月から翌14年の9月までミャンマー最大の都市ヤンゴンに留学し、ヤンゴン外国語大学へ通っていました。大学とは言っても欧米での語学学校のようなもので、私が行っていたのは「外国人にビルマ語を教えるコース」でした(ミャンマー人にとっては普通の大学です)。授業の形式は今皆さんが通っている日本の高校と同じような感じです。平日は毎日、朝9時から午後2時半まで授業があり、日本の大学とは違って時間割はすでに学校側が決めていました。クラスには中国人やインド人がいて、中国人とビルマ語でコミュニケーションを取るという奇妙な体験もできます。

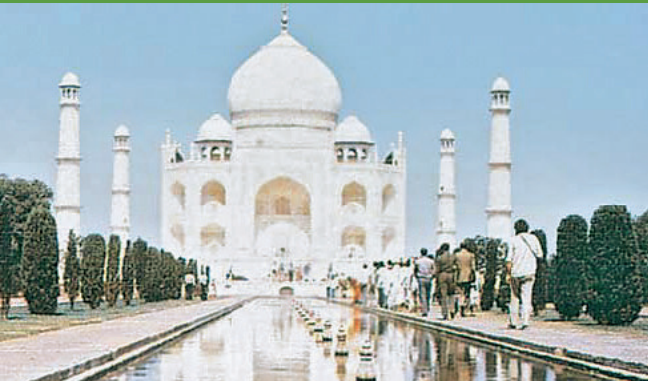
学校以外で主だったところでは、ビルマ人の先生のところで「ビルマの竪琴」を習っていました。弾き方はすべてビルマ語で教えてもらうので、ビルマ語の上達にも役立ちました。他には、4月と5月は学校が休みなのでミャンマー各地を旅行しました。ミャンマーの中にはビルマ語を母語としない民族もいることを知り、貴重な体験ができました。

当時、留学先と言えば私が通っていたヤンゴン外国語大学しかありませんでした。しかし、今では留学先も増えていて、留学以外の手段でミャンマーに長期滞在することも比較的簡単になってきています。ヨーロッパ留学は経済的にも負担が大きいです。ミャンマーはまだまだ学生に優しい国です。ぜひビルマ語専攻に入ってミャンマーを体感してみてください!



ヒンディー語専攻

🌐 ヒンディー語専攻は、ヒンディー語を習得し、新しい可能性を秘めたインドの社会と文化の現実を、熱く学ぶ意欲を持つ皆さんを歓迎します。



インドのアーグラ市にあるタージ・マハル

インドの人口はついに12億人を突破し、2045年には中国を抜いて世界一になると言われています。これほどのすごいエネルギーをもったこの国について皆さんはどれだけのことを知っているでしょうか。仏陀、ガンディー、カースト制度、ヨーガ、カレー、貧困、核保有国というイメージが定着しているのではないのでしょうか。それらは、もちろん一面の事実ですが、現実のインドは、立派に民主主義が働いており、めざましい高度成長を遂げつつあり、とくにIT産業の発展はめざましいものがあります。アジアの市場を見ると、中国の次はインドだ」といわれるのも無理はありません。伝統的にインドと日本は、仏教という精神文化を通じて交流がありましたが、これからは文化・社会・政治・経済のあらゆる分野での交流が重要となるでしょう。

私達ヒンディー語専攻では、トータルなインド文化理解の前提として、もっとも重要な公用語であるヒンディー語の習得を非常に重視しています。最初の1年間は、徹底的に語学の訓練にあてられます。これを武器として、他大学には真似のできないインド研究を目指しているのです。ヒンディー語をマスターすれば、インドの知識の无尽の宝庫が諸君の前に開かれます。ヒンディー語は語順も日本語とよく似ており、文法も簡単で整然としており、発音は少し難しいものもありますが、一語一語ははっきり発音してくれるので非常に聞き取りやすい言葉です。世界で一番多く映画が制作されるのはインドであり、その中でもヒンディー語映画は人気があり、世界中に輸出されています。日本でも近頃、インド映画を見る機会が増えてきました。字幕なしでこの言葉が理解できればどんなに楽しいことでしょうか。皆さんの憧れるカッコいいスターに会ってヒンディー語で話すというチャンスに恵まれるかもしれません。

厳しい授業でもヒンディー語学習の楽しさは十分満喫してもらえると信じています。優秀な諸君、好奇心旺盛な諸君、ヒンディー語専攻に來たれ！

インドの500ルピー紙幣の裏上と左下の文字がヒンディー語。右下が英語。左のボックス内にその他の15の言語で500ルピーと書かれている。



「ナマスカール」

नमस्कार

学生の声



4年 立石 昌嗣

『近年インドは成長してきているし、勉強していたら将来役に立つかもしれない』。ヒンディー語を学ぼうと思ったのはこんな理由からでした。ヒンディー語専攻では、多様な宗教や言語が互いにひしめき合って共生しているインドのように、様々なカラーをもった人が集まり日々勉学に励んでいます。

一年生のうちに一通り文法事項を習得し、二年生以降は神話や小説などの講読の授業が増えます。また、インド人のネイティブの先生による授業もあり、自分の考えや意見をヒンディー語で伝える練習もします。

どの言語にも共通することですが、苦難を伴わずに言語習得することは不可能です。睡眠時間を削って予習をしたことや、インド人の根底にある哲学思想をなかなか理解に落とし込めずに苦労したこともありました。さらには、何度も発音の間違いを指摘されることもありました。そうした苦難をクラスメートと一緒に乗り越えて、私は自分なりにヒンディー語に対して楽しさを見出せるようになりました。

私にとってヒンディー語とは、『多彩な思想や文化が脈々と流れるインドという巨大システムへのアクセスキー』のようなものです。そこに含まれる様々なコンテンツに触れるにつけて、心を揺さぶられることがとても多いです。

インドに精通した素晴らしい教授の方々が水先案内人となってサポートしてくださいます。インドというまだ見ぬ世界を覗いてみませんか？



留学生体験記



4年 看舎 瑞穂

家の玄関を出てまず目に入るのは牛、犬、猿、馬、豚・・・

ふれ合い牧場以上に動物とふれ合えるインドのバラナシに、3年生の後期から9か月間私費留学で行きました。目的は2つです。まず2年半かけて学んだヒンディー語が現地で通用するのかチャレンジし、さらに磨きをかけること。そして日本にいただけでは感じられないインド文化を直に体感することです。

平日は大学で他国の留学生と共にヒンディー語を教わり、休日等は習い事をしていました。日本でも人気のヨガや、シタールというインドの弦楽器、古典舞踊のカタックダンスやインド式ボーカル、そして現地のフリースクールでボランティア等をしました。また、放課後インド人の友達とチャイを飲みながら語らう時間は、教科書には載っていない留学ならではの文化体験だったと思います。

机に向かって勉強するのはもちろん大切ですが、やはりこうして現地でヒンディー語を使いながら覚えると身に付くスピードも実用性も違います。どんどん自分の話すヒンディー語が現地の人に通じるようになっていくのは面白いものです。また、現地語で接するからこそ聞かせてくれる本音もあり、これが言語を学ぶ醍醐味なのかなと思いました。

留学は楽しいことばかりではなく大変なこともたくさんありますが、それもひっくるめて楽しかったと言えるような貴重な経験をすることができます。ぜひ受験生の皆さんも入学したら現地に足を運んでみてください。



ウルドゥー語専攻

文学、思想の表現手段として、また、多言語社会をつなぐ共通語の一つとして南アジアで重要な役割を果たしてきたウルドゥー語を基礎からしっかりと学習したい人、ウルドゥー語を通じてウルドゥー語圏の言語、文学、文化、社会を深く研究したい人を歓迎します。



パキスタンの新郎新婦

ウルドゥー (Urdū) 語は、パキスタンの国語です。インドでも主要言語の一つに数えられています。文字はアラビア文字を用いますが、インド・ヨーロッパ語族に属します。

ウルドゥー語は、インド亜大陸を支配したイスラーム教徒たちの用いていたペルシア語の大きな影響を受けて形成された言語ですので、アラビア語やペルシア語の単語が非常に多く含まれています (ペルシア語はアラビア語の影響を受けましたので、ペルシア語には数多くのアラビア語の単語が含まれています)。ですから、ウルドゥー語を習得すると、日本人が中国語の文章の内容を推測できるように、アラビア語やペルシア語の文章の内容をある程度推測できるようになります。また、ウルドゥー語を勉強すると、ヒンディー語やパンジャブ語など、他の南アジアの言語に関する知識も身につけることができます。

入学すると、1 年次から集中的に文法を学びます。会話と発音はパキスタン人の先生が担当します。2 年次には中学・高校レベルの教科書を読み、3・4 年次には関心に応じて、文学、文化、社会、経済などに関する専門的な授業を選択します。

南アジア研究には英語の文献が不可欠ですが、南アジアの人々の、英語の資料には現れてこない声を聞くことの大切さを学んで欲しいと思います。



パキスタンの小学 4 年生用のウルドゥー語教科書

「アッサラーム・アライクム」

السلام عليكم

学生の声



2 年 永井 梨香

アッサラーム・アライクム！ 皆さん、こんにちは！

皆さんに少しでもウルドゥー語について興味を持っていただけるよう、ウルドゥー語、そしてウルドゥー語専攻について簡単に紹介しましょう。

皆さんはウルドゥー語がどういう言語か知っていますか？ ウルドゥー語は、パキスタンの国語、インドの公用語のひとつで、数億人を超える人々に通じる大言語なのです。ウルドゥー語の一番の魅力は、右から左に書く美しいアラビア文字 (ウルドゥー語の教科書を電車やバスの中で開くと優越感に浸ることができますよ！) と、それを使ってつむがれる美しい響きの詩にあると思います。

次に、ウルドゥー語専攻について紹介しましょう。先生方はとっても魅力溢れる方ばかりで、南アジアでの体験を聞いたり、南アジアの映画を見たり、音楽を聞いたり、楽しく授業を受けています。パキスタン人のマルグーブ先生はとてもチャーミングな方で、優しく丁寧に教えてくださいます。縦横のつながりも強く、先生方も交えて食事をしたりして交流を深めています。昨年度には外務省の方のお話を聞くこともできました。

ウルドゥー語を学ぶと新しい発見や素晴らしい仲間との出会いが得られます。さあ、私たちと一緒にウルドゥー語の魅力に触れてみませんか。



留学生体験記



4 年 塩谷 一真

2014 年 9 月から 2015 年 3 月までの半年間、パキスタンのラホールにあるガヴァメント・カレッジ大学に留学しました。留学中は、大学の寮で生活していたのですが、寮で暮らす学生は私を除いて全員がパキスタン人だったので、生活していくうえでは否が応でもウルドゥー語を使わなければならないという言葉を学ぶには申し分のない環境でした。

私にとってパキスタン留学で最も魅力的に思えたこと——それは、一人の時間がほとんどないということでした。基本的に一人でいることが嫌いな私は、いつ会ってもフレンドリーに話しかけてくれ、いつでも食事の誘いをしてくれるパキスタン人の性格が大好きでした。時には、誘いをすっぽかされたり、大した用件もないのにしつこく話しかけてくる彼らに苛立ちを感じることもありましたが、そこに微塵も悪気を感じていない彼らの姿勢に怒りを通り越して愛おしささえ感じるようになってしまいました。たった半年間の留学でしたが、寮のパキスタン人学生とは出会って半年とは思えないほど深い人間関係を築くことが出来ました。

「大雑把、人が好き、食べることが好き」この三つに当てはまる人にとってパキスタンほどいい時間を過ごせる留学先はないと思います。



アラビア語専攻

🌐 日本語も含めた世界の言葉に限りない関心を寄せ、言葉が織り成すあらゆる現象を理解するためにあくなき探求心を燃やし、異文化への遙かな道のりを自分の足でたゆまず歩んでいける人を希望します。



カイロ下町風景

イスラム教徒は1ヶ月の間、一切飲まず食わずで断食する。一まだ本当にそう思っている人がいるかも知れませんが、アラビア語はイスラムの聖典『コーラン』の言語で、アラビア半島から北アフリカまで広大なアラビア語使用地域を旅するのに、『コーラン』を知っていれば困らずに済むなんて、そんなことを大真面目に説く社会の教科書もありました。アラビア語が世界で一番むずかしい言葉の1つだとかまことしやかな、ありがたい褒め言葉(?) もいまだにあとを絶ちません。

「何語を勉強してるの?」「アラビア語」「へー、珍しい言葉やってるんだネ」。統計では母語話者数でアラビア語がスペイン語に次いで5位だと聞いて、エッと驚き、フランス語は14位だと聞いて、エエッと2回驚くでしょう。大リーグじゃあるまいし、世界の言葉をつかまえて major/minor 呼ばわりする気はさらさらありませんが、わざわざ悠久の人類史をひもとくまでもなく、この話者数の単純な数字をただで、アラビア語を「珍しい」と見るのが、今どき (いや、ずーっと昔から) いかにズレた認識が分かるはずですよ。

さあ、重たい上着を脱がせましょう。1枚1枚神話と伝説のよういを剥ぎとりましょう。「珍しい」とか「特殊」とか、そんなレッテルを貼りがたがる人たちの手からアラビア語をとり戻しましょう。魔法の呪文と魔法の絨毯で幻想の世界へ遊ぶためだけにアラビア語ではありません。書庫の薄暗がりではランプの明かりを頼りに古文書を読み解くためだけにアラビア語ではありません。泣いて笑って怒ってしょげて、暑ければ暑いと言い、痛ければ痛いと言う「素顔」のアラビア語を学びましょう。単語を覚えてイディオムを増やし、動詞の活用に慣れ、構文の規則を理解し、努力すれば努力しただけ必ず報いてくれる「等身大」のアラビア語を「等身大」のまま、サンサンと降り注ぐ過剰なほどに明るい陽光のもとで。



カイロ大学正門



カイロ大学中庭

「アハラン・ワ・サハラン」

أَهْلًا وَسَهْلًا

学生の声



3年 山咲 真優

「外国語が出来るって何かカッコいいから」という理由だけで外国語学部を目指していたけれども、専攻を決めかねていた高校2年生の時、私はあることに気付いてしまったのです。それは、書店や図書館の語学参考書コーナーに行っても、アラビア語の教材はとにかく数が少ないということ。この教材の少なさではアラビア語を独習するのは難しそう。それならば大学で勉強しよう。そう考えてアラビア語専攻を志望しました。

実際にアラビア語を勉強してみてどうかというと、面白いです！ 私は人間の言葉とは思えないほどの理路整然とした文法のことを考えると、うっとりしてしまいます (本当です)。辞書引きが難しいアラビア語。時々、「どうやって辞書を引けばいいか、すぐには判断出来ない単語」に遭遇します。そんな時は学んだ文法の知識を総動員して解きほぐしていきます。これがパズルみたいで面白い！ 「難問」が解けた時はニヤニヤが止まりません (真面キャンパスで緑の辞書を持ってニヤついている人を見たら、そっとしといてあげてください)。アラビア語には、日本語とも英語とも違う、面白い言葉の世界が広がっています。

ところで他専攻の友人が言うには、「アラビア語専攻は背負っているものが違う」とのこと。アラビア語とアラブ文化の長い歴史や奥深さを指しているのかもしれませんが、その本当の意味は、皆さんそれぞれがアラビア語専攻の中で見つけて下さい。



留学生体験記



2年 三輪 晶帆

私は1カ月、エジプト・カイロ大学にて短期留学しました。「エジプトに行くって大丈夫?」と多くの人に言われる中で私の滞在は始まりました。最初の3日間は、初対面なのにエジプトの人の驚くほどの人懐っこさ、路上で突如始まる口論や運転の荒々しさなど、その全てに圧倒され続けました。そんな中、現地の人に混ざって生活すればイスラムと共に生きる彼らが、何を考え、どのように生活しているのかを自然と知るようになります。そして、今まで気が付かなかった日本の良さを遠く離れたアフリカ大陸で感じるようになるとうは。

正直授業も大変でした。先生が普通にアラビア語で話されるので最初はほとんど理解できず、面喰う毎日。説明が分からなければ、「この生徒しつこいな!」と先生が思われるまで他の方法で質問して解決する、あるいは辞書で意味を調べる。語彙力の乏しい私はこれを繰り返すしかありません。しかし研修も後半となり数多くの語彙やフレーズが増えれば、この場面ならばどのフレーズが好ましいのかを体全体で分かっていくようになります。この段階に入れば授業も生活も楽しくなって、気が付けば「よし、今日も現地の人に話しかけに行こう!」という姿勢になっていました。

エジプト滞在1カ月、短くも貴重な経験でした。この研修を通して、私は「アラビア語」をゴールとするのではなく「アラビア語を通して人とつながる」という新しいゴールに向けて走り始めたばかりです。



ペルシア語専攻

西アジアの文化や歴史に興味があり、その言語を勉強してみたいと思っている受験生諸君をペルシア語専攻は歓迎します。入学してほしい学生は知的好奇心にとみ、それを維持していく知的能力を持った学生です。



シェイフ・ロトフォラーモスク（イスファハーン）

ペルシア語はインド・ヨーロッパ語族に属し、英語やドイツ語などとは親戚関係にある言語のひとつです。その言語資料の歴史はかなり古く、古代ペルシア語は紀元前6世紀以降アケメネス王朝の王たちが碑文で用いたのに始まります。

私たちが勉強するのはイランがイスラム化された7世紀半ば以降、9～10世紀にかけて文章語として確立された近世ペルシア語です。この言語は、イスラムの影響で、文字はアラビア文字を用い、大量のアラビア語の単語が借用語として入ってきています。

ペルシア語はもともとはイラン南西部の一方言でしたが、イラン文化の発達と拡大に伴い、中世にはイランだけでなく、東は北インド、アフガニスタン、西はトルコ、北は中央アジアにわたる広大な地域で公用語、学術語として用いられ、イスラム世界においてアラビア語に次ぐ重要な地位を占めました。その名残が現代のタジキスタンのタジク語やアフガニスタンの公用語の一つであるダリー語です。これらの言語は、名称こそ異なれ、実体はペルシア語です。

また、多くの優れた文学作品がペルシア語で書かれました。ゲーテは散文学の古典『カープースの書』やハーフェズの抒情詩集を耽読し、その啓発を受けて『西東詩集』が生まれたと言われています。とくに詩文学に優れ、19世紀のフィッツジェラルドの英訳で世界中に名声を博したオマル・ハイヤームの『ルバイヤート（四行詩集）』、フェルドウスィーによる英雄叙事詩『王書』、イラン人がもっとも愛好するサアディーの『薔薇園』など世界文学史上に名を留める名作が数多くあります。

イラン文化は東西文化交渉史においても大きな活躍をしています。シルクロードを経てイラン文化が日本に渡来し、少なからざる影響を与えたことはもはや常識となっています。美術では、建築、庭園、陶器、絨毯にも名品が少なくありません。

こうした豊かな伝統に支えられたイラン文化をペルシア語の学習を通して学んでいきます。

「サラーム」

سلام

学生の声

3年 土井 ひかり

みなさん、こんにちは。ペルシア語専攻3年生の土井ひかりと申します。ペルシア語と聞くと、どんなイメージを思い浮かべるでしょう？「うねうねしたミミズみたいな文字のやつ」。そんな印象を持たれている方が多いと思います。確かに一見ただけではどう読めばいいのか分からない言語です。ですが実は文法が英語に近く、シンプルで習得しやすい言語なのです。

ペルシア語を母語とする国、イランもみなさんにとっては謎の多い国かもしれませんね。息をのむほど美しいモスクや庭園、広い砂漠など、その景色は日本とは大きく異なっています。長い歴史や豊かな文化を持つ、とても魅力的な国です。

ペルシア語専攻の学生は一学年20人と少ないですが、その分クラスメイトや先輩、先生との距離が近く、授業の密度も非常に濃いです。そして、先生と一緒に1～4年生で遠足に行ったり、学園祭でイランの伝統的な料理を販売したり、ペルシア語を使って劇をしたりと一年を通して様々な楽しいイベントがあります。

私は、2年生の春にイランに1ヶ月ほど行ってきて、実際にイランの文化を体験してきました。おもてなしが大好きで、ことあるごとにチャーイ（お茶）を振る舞ってくれる気さくなイランの人たち。彼らと実際にペルシア語で話をする中で、自分にとって未知の世界を学ぶことのおもしろさ、大切さを痛感しました。

みなさんも、ペルシア語を通じて新しい世界を体験してみませんか？



留学生体験記

4年 重谷 一郎

僕はイランの首都テヘランで9ヶ月過ごしました。皆さんにとってイランは危険な国というイメージが強いかもしれませんが、留学を通しイランという国は僕にとって世界中で最も魅力的な国に変わりました。

毎日決まった時間にテヘランの町中に響き渡るコーランの一節を聞きながら、時には机に向かい勉強し、また時にはイラン人の友達たちと近くの公園に行き、水タバコを片手にチャイを飲みながら語り合い、またまた時には人々の活気で溢れかえるバーザールまで足を運び、バーザール商人達とペルシア語で値段交渉をしたりと留学最終日まで毎日充実した日々を過ごすことができました。留学当初は今まで学校で習ってきたいわゆる「書き言葉」と実際にイラン人の間で話される「話し言葉」のギャップや、語彙力のなさには苦しみのりましたが、生活を通して自分も話し言葉を話すようになり、テレビの取材に応じた際もペルシア語で自分の意見をすらすらと言えるようになりました。

留学は単に言語能力を極めるだけでなく、主体的に行動することで日本では経験できない様々な価値観に触れることができます。僕自身イランで伝統的な楽器を習い、現地でオーケストラのメンバーになりイラン人により密接に関係を持ち、様々な価値観に触れることが出来ました。留学、特にイラン留学は現地の実情を肌で感じ、メディアを通してだけでは知ることの出来ない様々な体験をするいいチャンスだと思います。



トルコ語専攻

本トルコ語専攻では、トルコ共和国の言語・文化や社会に強い関心を抱き、その母語であるトルコ語の習得への強い意欲を持ち、高い目標を実現すべく努力を怠らない人を望みます。また将来的にトルコ語を用いてトルコ系諸国の言語や文化、さらには社会について深く学びたい人、さらには自らの考えや思いをトルコ語で発信したいと思う人を求めます。



世界遺産「スルタンアフメト・モスク」

ボスポラス海峡をはさんで、アジアとヨーロッパの両大陸にまたがる国トルコは、日本の2倍強の国土を有し、そこにはおよそ7500万人の人々が住んでいます。

トルコ共和国の公用語であるトルコ語とはどんな言葉なのでしょう。トルコ語は、いろいろな意味で英語とは違うところの多い言葉です。そのためか、ヨーロッパなどでは、トルコ語は難しいと言われることがあります。では、私たちにってはどうか。もちろん外国語ですから簡単なわけではないのですが、それほど難しくはないと言ってもいいでしょう。発音は取っつきにくい点もありますが、比較的早い時期に慣れることができるでしょう。単語の語形変化も規則的で、何ページもある不規則動詞の活用表の暗記に苦しむ、ということはありません。そして、何と言ってもうれしいのが語順です。トルコ語の基本語順は、主語－目的語－述語の順番で、日本語と同じです。前置詞や関係詞などはなく、日本語の助詞のようなもので文法関係を表します。また、文字がローマ字であることも、学習しやすい点のひとつです。

トルコ語は、系統的には、中央アジアで話されているウズベク語やウイグル語やカザフ語、シベリアで話されているヤクート語などと親戚関係にあります。

授業科目を簡単に紹介しておきますと、1・2年生ではトルコ語実習が中心となります。3・4年生では、上級トルコ語、トルコ語文法研究、トルコ文学、トルコ民族史などをはじめとする専門的な授業が組まれています。

社会人となる前に、私たちの専攻で、青春のエネルギーをぶつけて自己形成に挑戦してみませんか。



パジャバー（カッパドキア）

「メルハバ」

Merhaba

学生の声



4年 福井 千晶

Merhaba! 皆さんはトルコ語についてどんなイメージを持っていますか？トルコという国自体に対してはケバブをはじめとした世界三大料理に数えられる美味しい食事も、親日国など、少しはイメージしやすいのではないかと思います。では、初めに書いたトルコ「語」についてのイメージですが、日本人にとって学びやすい言語だと思ってもらえれば大丈夫です！昔はアラビア文字を使っていたのですが、文字改革が起こり、現在はアルファベットを使用しているので「文字から覚えないと…」という心配はいりません！また、語順がSOVで日本語と同じなのです。例を挙げると Ben (私は) onun (彼が) yazdığı (書いた) kitabı (本を) okudum (読んだ)。ね？本当にそっくりだと思いませんか？

また、トルコ語専攻に焦点を当てると、トルコに実際行く人はかなり多いです。私もトルコのカマンというところで行われた考古学フィールドに参加しました。考古学自体は初めて学ぶことだったのですが、ほか他の留学をする生徒とは違う体験がしたいと思い遺跡の発掘調査に行ってきました。毎日勉強の日々で、朝の4:30から14:00まで発掘をし、その後夕方には英語とトルコ語両方でその日の成果報告をしていました。最終日には青銅製のピンの出土年代についてのプレゼンテーションをしたりと大変な思いもしましたが、毎日トルコ人の親方や友達とトルコ語で話せる楽しさでいっぱいでした。

皆さんと魅力的なトルコについて学べる日を楽しみにしています！



留学生体験記



4年 森 優美

‘çay içer misin? (チャイ、飲む?)’どこに行ってもこう聞かれ、いつも‘Evet, içerim (うん、飲む。)’と答えました。私の留学したトルコ共和国は、日本から飛行機で約12時間、ヨーロッパとアジアの間に位置し、トルコ語を公用語とする国です。この国の魅力は何といっても豊かな文化と暖かな人々でしょう。ビザンツ美術の傑作、アヤソフィア眠るイスタンブールはもとより、トルコ南西部、地中海沿岸の町には古代ローマ時代の遺跡も数多く点在します。古くから西欧とイスラムの邂逅点として独自の文化を形成してきたトルコにおいて、人々の在り方もまた多様です。目の色、髪の色、個人の持つ哲学、時に宗教すら多様な様相を呈します。

しかし、人はみな押しなべて暖かいです。大学でも旅先でも、顔見知りでも見知らぬ人でも、人々は歓迎の気持ちをもって接してくれ、時にトルコの国民的飲み物チャイをご馳走してくれます。トルコ人のお喋りの傍らにはいつも見受けられるこのチャイですが、私も彼らとのお喋りに興じるあまり、一日に10杯や20杯のチャイを飲んだこともありました。他にも、トルコ料理の美味しさやトルコ語の可愛らしさなど、その語られるべき魅力は尽きません。訪れる前と後では、抱く愛着の深さが全く変わってしまうこと請け合いの、このトルコという国に留学することが出来て本当によかったと思います。



スワヒリ語専攻

🌐 スワヒリ語専攻では、東アフリカのスワヒリ語のみならず、広くアフリカの言語や文化、そしてアフリカが直面する同時代的な問題について学んでいきます。

アフリカの言語に関心がある人はもちろんのこと、アフリカを通して世界のグローバルな問題について考え、取り組んでいきたい人を歓迎します。



キリマンジャロの雄姿

アフリカには 2000 近くの言語があります。その中でも、スワヒリ語は最も主要な言語の一つです。スワヒリ語は東アフリカの共通語として、タンザニア、ケニア、ウガンダなど 10 カ国以上で話されており、話者数は 7 千万人を超えています。タンザニアとケニアの公用語であり、東アフリカ諸国の学校教育やマスメディアで用いられている重要な言語です。

本専攻は日本で唯一、学部からスワヒリ語を専門科目として学ぶことができます。そして、スワヒリ語を入り口としてアフリカの言語や文化、社会や政治について広く学んでいきます。

スワヒリ語の他に、ナイジェリアの主要な言語であるヨルバ語やハウサ語、コンゴ民主共和国のリンガラ語やコンゴ語などを学ぶことができます。また、アフリカの社会や政治経済、文化、文学などに関する講義科目があり、現地でフィールドワークをおこなっている多彩な研究者から、アフリカのさまざまな民族や社会の様子を知ることができます。ゼミでは、アフリカの諸問題や言語・文化について、各自が興味をもつテーマを選び、みなで議論する中で考えを深め、卒論へと仕上げていきます。

アフリカは現在 55 カ国を数え、急速な経済発展を見せる一方、植民地時代の負の遺産を背負ったまま、貧困や政情不安、紛争など多くの問題を抱えています。グローバル時代の現代にあって、遠く離れている日本も、アフリカの現状は決して無関係なものではありません。アフリカを深く理解し、アフリカとの関わり方を考えていくことが、国際社会の一員である私達にも求められています。スワヒリ語を学ぶことから、その第一歩を踏み出してみませんか。



スワヒリ語専攻はみんな仲がいいよ（語劇祭にて）

「ハバリ ガニ？」

Habari gani?

学生の声



3年 初田 漠

日本で唯一スワヒリ語を専攻することができるこの専攻では、実際にアフリカを訪れる学生も多く、現地に行かないとわからないことをそれぞれの学生が経験してきます。私も2年生の時、1ヶ月間タンザニアを旅しました。タンザニアを一言で表すならば、「人間くさい国」と言うのが最も近いような気がします。そのことを一番感じられたのはバスの旅でした。

町を走る小さな乗り合いバス、通称ダラダラはいつも満席のぎゅうぎゅう詰めで、エアコンも効いていません。長距離バスのような大きなバスでも、座り心地はあまり良くなく、バス停の表示もないので、停車場がわからないことも多々あります。ですが、私はタンザニアのこのバスでの移動がとても好きです。それは、どんなに満席でも、外国人である私が、大きなバックパックを背負って乗ってくると、席を詰めたり譲ったりしてくれます。私がスワヒリ語を話せるとわかって、あちらこちらから「どこから来たの?」、「タンザニアは最高だろ?」と尋ねられ、会話が始まります。長距離バスでは、近くの人たちとお菓子をシェアしてワイワイとおしゃべりしながら移動します。私はタンザニアの人たちのあたたかさにとっても魅了されました。

旅をより豊かにしたのは、まさに私がスワヒリ語を話せたことであり、スワヒリ語専攻に入学してよかったなと、改めて思える旅でした。



タンザニア、ザンジバル島の子どもたちと

留学生体験記



4年 松浦 由佳

「とにかく現地の同年代の学生と同じ生活がしたい!」という思いで、私はタンザニアの大学への留学を決め、約10ヶ月間ダルエスサラーム大学でアフリカ史や開発経済学を学びました。大学で驚いたのは、勉強に対する学生の意欲の高さでした。タンザニアでは日本のようにテキストやレジュメがないため、学生は皆一生懸命ノートをとります。授業外でも学生同士で授業のテーマについて熱心に議論し、先生を捕まえては質問攻めにします。構内ではこういった光景が日常的に見られ、私も自然に勉強に力が入るようになりました。

留学中、最も印象的だったのは「日本でのアフリカのイメージ」を尋ねられた時のことです。日本ではアフリカといえば、「戦争」「貧困」「動物」というイメージが挙げられますが、それを伝えようと、クラスは爆笑の渦に包まれたのでした。「日本ではまだそんなことを言っているのか」と。こんな風に留学中には、日本人が無意識に持っているアフリカのイメージと現実とのギャップを肌で感じる機会が多くありました。スワヒリ語専攻で学んできたことについての理解を深め、実体験として積み重ねられたことが、私が留学で得た一番大きな財産だと思っています。

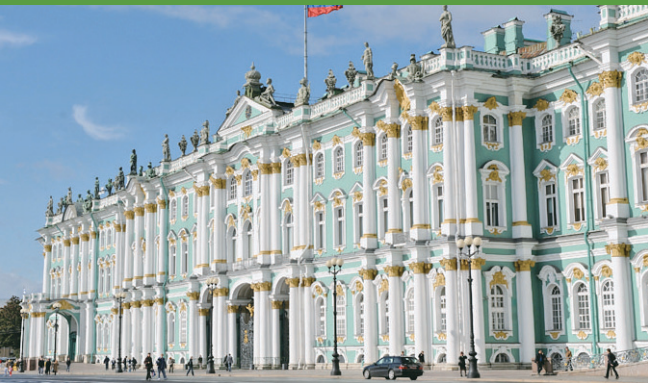
留学中は寮で生活しましたが、水はほとんど出ないし停電もよく起こります。しかし、久しぶりに水が通った時に皆であげる歓声が私は何より好きでした。夜、電気のない中クラスメイトで集まり、ろうそくを灯して勉強をすることは、電気を享受して本を読むよりもずっと楽しかったのです。日本にいても恋しくなってしまうタンザニアの留学生生活を、大学生のうちに送れたことを幸せに思います。



ダルエスサラーム大学にて、授業後に友人と

ロシア語専攻

ロシアという国の社会、歴史、文化、芸術、そして言語に大に関心を持って、入学してきてほしい。何よりも、様々なことに好奇心を持ち、自分で考えて、将来専門家として歩む自覚を持っている学生を求めます。



エルミタージュ美術館

日本海を越えれば、そこはもう広大なロシアの大地が広がっています。歴史的、経済的、政治的にとても深い関係にあるロシアと日本。この二つの国が、これからの世界で互いに脅かすことなく理解し合い、助け合いながら共に発展していくことは、双方の国にとって、そして世界全体にとってとても重要な課題となっています。

また昨今は、最重要な経済パートナーとして日本の産業界はロシアへの関心を高めており、政治、経済、行政等、様々な分野で、ロシア語能力を持つ人材が広く求められており、卒業生の活躍の場はどんどん広がっています。

ロシア語専攻では、外国語学部でもいち早く統一教材を用いた、総合授業システムを採用しています。総合授業システムとは、話す、聞く、書く、読むというロシア語の4技能を総合的に学習し、全体として、学習言語による実際の活動を可能にする異文化コミュニケーション・行動能力を高めることを目指すシステムです。クラスは少人数制で、学年ごとの「到達度目標」に従って授業は進められます。

また、モスクワ大学との提携により、ロシア語能力検定試験を導入し、客観的な評価基準による単位認定を行っています。

後期課程（3・4年生）では、ロシアの文学・歴史・経済・言語といった専門分野の研究に加え、同時通訳コースやビジネスロシア語などの高度なロシア語運用能力を育成する授業も開講されており、将来、ロシア語を使った専門職に就くための準備も積極的におこなっています。

みなさんも私たちと共に勉強して、「ロシア」という未知の扉をたたいてみませんか？



日露首脳会談 2013年4月29日、モスクワ（ロイター）

「ズドラーストヴィチェ！」

ЗДРАВСТВУЙТЕ!

学生の声



4年 福満 真帆

「大阪大学外国語学部ロシア語専攻を選んでよかった！」

私は胸を張って、未来の後輩の皆様にロシア語専攻をお勧めします。そもそも、世界第一位の国土面積を持つ隣国のロシアについてあなたはどれくらいご存知でしょうか？「極寒でスパイがいて、ピロシキを食べたりウオッカを飲んだり、よく分からないけど謎に包まれた国」というイメージを持っている方も少なくないでしょう。私自身も入学するまではロシアについての知識はほとんどありませんでした。隣国のことを全く知らないことに不安を感じ、「ここに入学すればロシアのヴェールを剥がして、より世界のことを理解できるはず！」という期待を抱き、入学しました。

入学後、新しい学びがある度にロシアに対する好奇心がますます高まり、奥深い文化を知っていくことですっかり虜になっていきました。その原因はロシア語専攻にある数多くの魅力です。語学の勉強だけではなく、ロシアの歴史や文化、政治、言語学等といった様々な専門もしっかりと学べるのはもちろんのこと、素晴らしい学習環境が整っています。先生方との密な関係の仲、ともに切磋琢磨する仲間たちと充実したカリキュラムに従い、一つ一つのステップをクリアしていくことで語学力を確実につけることができます。さらに、短期・長期の留学プログラムもあり、あらゆる視点から物事を見られるようになる機会も設けられています。

ここには書ききれないほどたくさんの方々が詰まったロシア語専攻でああなたの可能性を広げてみませんか？皆さんと春にお会いできるのを楽しみにしています！



留学生体験記



4年 小田切 洋介

みなさん、ロシア語由来の日本語はどのくらい知っていますか？

セイウチという動物の名前は、ロシア語で“トド”を意味するСивуч（シヴーチ）が由来です。他にもイクラ、カンパ、ノルマ、アジトなど、意外にたくさんありますね。

ひとたびロシア語を勉強し始めると、面白いことが山程出てきます。上記のトリビアのようなことから、言語学的に面白いことまで、知的好奇心を満たすにはうってつけです。

また、ロシア語専攻では学ぶことは言語だけではなく、政治、歴史、文化からロシア人の日常生活、ロシア料理の作り方でなんでも学ぶことができます。課外活動ではなんと、演劇を実際にやることも出来ます。ロシア語劇団の活動は本当に楽しいですよ！学生劇という中途半端な印象を持たれがちですが、ロシア語劇団はいつも全力投球です。とても長いロシア語の台詞を何ヶ月もかけて覚え、動きを決め、感情を考え、劇団員同士の意見の対立を乗り越えて、最高の状態で本番を終えた時の気持ちは格別です。先輩や後輩とも仲良くなれます。

そうやって沢山勉強をして、沢山遊んだら、ロシアにも行ってみてください。ロシア語専攻は留学の制度も充実しています。なんとなく怖いというイメージがつかまとうロシアですが、ひとたび友達になれば本当に親身になってくれる人が多いですし、新しい世界観に触れることもできると思います。日本文化への関心も非常に高く、日本料理屋はイタリアン並みに沢山あるんですよ！

それではみなさん、キャンパスでお待ちしております。Давай теучимсявместе !!



ハンガリー語専攻

🌐 ハンガリー語とハンガリー語が話される地域の文化・歴史・社会について深く学び、ハンガリーだけでなくヨーロッパ全般への関心と理解をもち、将来大学で学んだことを生かして積極的に社会で活躍したいと願っている人を求めています。



ブダとペシュトを最初に結んだ橋「くさり橋」

ハンガリー語を専攻語として学ぶことができるのは、日本では本学だけです。ハンガリー語は最も新しい専攻語ですが、それでもできてからすでに20年が経ちました。その間に、日本とハンガリーの関係も大きく変わってきました。日本・ハンガリー両国の交流は、1989年にハンガリーが体制転換した少し前から、経済、文化その他さまざまな分野で急速に発展してきました。ハンガリーでの日本語学習熟の高まりもそのあらわれの一つです。ハンガリーは2004年5月にEUに加盟を果たしました。今後、両国の関係はますます発展していくことでしょう。きっと将来、皆さんのなかから、両国関係のさらなる進展に貢献する人が現れることでしょう。

ではハンガリー語とは、そもそもどんな言葉なのでしょう。不思議な言語だと言われることがあります。そう言われる理由は、ハンガリー語の文法構造や語彙が、他のヨーロッパの言語と比べて、かなり違っているからです。それで、ヨーロッパの人々から見ると、ときに不可解だと思えるようです。でもヨーロッパの外、たとえば日本から見れば、別に不可解なわけではありません。それどころか、日本語と似た点もあるのです。ハンガリー語では日本語の助詞（てにをは）と同じような働きをする要素（接尾辞）が用いられます。なお、ハンガリー語は系統的にはウラル語族に属しますが、ヨーロッパではほかにフィンランド語やエストニア語もウラル語族です。最初の2年間は、ハンガリー語の習得が勉強の中心になります。3、4年生になると、それぞれの興味にしたがって、ハンガリーの言語学、文学、歴史などについて学ぶことができますが、そのときに、1、2年生のときに身につけたハンガリー語を活かすことが大切になってきます。

ヨーロッパの中で、ちょっとほかとは違う特徴をもった言語と文化を、皆さんも勉強してみませんか。きっと今までとはちがう新しい世界が見えてくることでしょう。

「ヨー・ナポト・キーバーノク」

Jó napot kívánok!

学生の声



3年 後藤 雅子

Sziasztok! ハンガリー語専攻と聞いて、「ハンガリー…?」と思ったそこのあなた。ハンガリーとはヨーロッパにある、7つの国に囲まれた人口1000万人ほどの内陸国です。首都のブダペシュトは世界遺産でもあり、ドナウの真珠と言われ観光客も多く訪れる美しい街です。小さな国ではありますが、その歴史は壮大なもので、とても魅力的です。日本で日常的にヨーロッパ、ましてやハンガリーを身近に感じる機会は残念ながら少ないかもしれません。でも、ハンガリーの言語や文化に触れると、今まで知らなかった興味深い新たな世界が開け、きっとその虜になるはずです！日本ではハンガリーはマイナーな国ですが、そんなレアなハンガリーについて学べるというのは、非常に素敵なことだと思います。いざ勉強してみたら、ルービックキューブが実はハンガリー発祥だったり、ハンガリーも日本のように温泉大国だったり、ハンガリー料理がとても美味しかったり…様々な驚きや発見があることでしょう。学習環境に関しては1学年20人弱もおらず、アットホームな雰囲気の中仲良く勉強しています。先輩後輩の仲も良いので色んな話を先輩から聞くことができます。少人数で、授業は楽しく興味深いです！ハンガリー語劇に出たり、留学して実際に現地で学んだりする人も多いです。ハンガリーと関わってみることで、あなたの素晴らしい夢が見つかるかもしれませんよ！



留学生体験記



3年 大笹 愛

ハンガリーに留学したいというたつての希望から、奨学金を受けてブダペストのエトヴェシュ・ローランド大学のサマースクールに参加し、1ヶ月間主にヨーロッパからの留学生達とハンガリー語を学びました。母国語以外の言語も流暢に話すヨーロッパの学生を前に、最初はただ圧倒されるばかりでしたが、私のハンガリー語に耳を傾け、気さくに話をしてくれたクラスメイトや寮のルームメイトは皆フレンドリーで優しく、言語を学ぶには積極性が大切ということをもっと学びました。平日は毎日大学でみっちり勉強し、放課後は友人達と観光名所でもある中央市場へハンガリー語を使って買い物に出かけました。学校帰りには世界遺産の街を歩くことができます。今振り返ると本当に環境に恵まれ、充実した1ヶ月間だったと思います。

ブダペストは他のヨーロッパの国々には無い、シックで優美な空気をもつ魅力あふれる街です。友人達とブダ城から眺めた、ドナウの流れるブダペストの夜景は忘れることができません。1ヶ月間一緒に時間を過ごし切磋琢磨したクラスメイトは、今でも互いによく連絡を取り合う仲です。お互いの国籍や文化は異なっても、共通の言語で相手のことを知ることができる、そんな当たり前のようなですがかけがえのない体験をすることができました。言語の習得はもちろん、多くの出会いで自分の世界観を広げることができる、そんな貴重な機会をハンガリー留学は与えてくれるはずです。



「ゴデー」
Goddag!

「ハイ」
Hej!
(くだけた言い方)

学生の声



4年 植田 彩芽

“世界で一番幸せな国” そんな国デンマークに魅力を感じ、直感でデンマーク語専攻に入学を決め早4年、受験生のみなさんに今このメッセージを送れることを大変嬉しく思っています。

みなさんはデンマークについてどんなイメージを持っているのでしょうか？

デンマーク語なんて言語があるの?!と思われた方もいらっしゃるかもしれませんが。しかし実は、“世界一幸せな国” “充実した社会福祉” “北欧デザイン” “アンデルセン” …。と小さい国ながらもデンマークはたくさんの魅力に溢れているのです！

私たちデンマーク語専攻ではこの魅力に溢れるデンマークの語学についてはもちろん、学年が上がるにつれ、デンマークの文学、社会、歴史について専門的に深く学ぶことができます。私自身現在、デンマークの昔話のひとつ、「Den Stumme Dronning」（口のきけない王女）という物語の深層について研究をしています。この物語は日本語に翻訳がされておらず、日本語文献が少ないため、苦勞することもあります。その分やりがいも十分にあります。

また、昨年の夏にはアンデルセンの故郷オーデンセという街に留学をしました。”世界一幸せな国”に実際に身を置くことができたのは今までにも、これからも味わうことのできない貴重な経験です。

このように、デンマーク語は小さな国の言語ではありますが、その分、デンマーク語専攻でしか学べないこと、やれないことがたくさんあるのです！デンマーク語専攻には皆さんのまだ見ぬ世界が待っています。是非一緒に“世界一幸せな国”の言語を学んでみませんか？



留学生体験記



4年 東條 元気

私は大学の交換留学制度ではなく、Folkehøjskole という国民高等学校に留学しました。9か月間のデンマーク留学は私のこれまでの人生において最大の挑戦で初めての連続でした。

留学先では2人のデンマーク人と同部屋で生活を送り、絶えずデンマーク語に触れ、会話する中で様々な表現を学びました。教育カリキュラムは学校によって様々で、数十の学校の中から自分の行きたい学校を選ぶことができます。私は運動をコミュニケーションツールとして活用したいと考え、スポーツに特化した学校を選びました。サッカーやハンドボールはもちろんの事、日本では経験したことのないトライアスロンやフルマラソンにも挑戦しました。スポーツの学校といっても編み物をしたり、料理を作ったり、またギターなどを演奏する音楽の授業もあったりと初めての事も幅広く学ぶ事ができました。

デンマークには移民など多様な国籍の人々と共存してきた歴史があり、外国人を理解し受け入れる文化があります。彼らは私に対しても偏見を持たず、快く受け入れてくれました。だからこそ私が何事にも不安なく挑戦でき、結果今でも最高の仲間だと思っています。世界幸福度ランキング上位のこの国で私も「幸せ」を感じる事ができ、さらにこの国が好きになりました。自分に合った留学テーマを決め、新しい自分に挑戦できる環境がデンマークには整っています。皆さんもこの国で「挑戦」を経験し、「幸せ」を感じてみませんか？



デンマーク語専攻



デンマーク語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してデンマークの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。



森の中での自然保育

デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻は最初、1966年4月に大阪外国語大学デンマーク語学科として開設され、1985年4月にはスウェーデン語課程が加えられデンマーク・スウェーデン語学科となりました。そして、2007年10月から大阪大学外国語学部デンマーク語専攻、スウェーデン語専攻として新たにスタートしました。国立大学では唯一の北欧に関する教育機関です。教育の対象は、デンマーク、スウェーデンを中心とする北欧の言語、文学、社会、歴史です。2年次までは専攻とするデンマーク語またはスウェーデン語の一方を集中的に学習します。「読み、書き、話す」に同じ比重が置かれ、外国人教員は最初の段階からデンマーク語もしくはスウェーデン語のみで授業を行ないます。また、最初の1年間はデンマーク語の学生、スウェーデン語の学生が他専攻あるいは他学部の学生たちと一緒に受講する北欧事情の講義もあります。また、2年次にはデンマーク、スウェーデンの文学、社会、歴史に関する概説的な講義もあります。3年次になると、自分の関心分野に応じて、言語、文学、社会、歴史いずれか1つの特別演習（ゼミ）を選択することになります。授業を担当するのは、デンマーク、スウェーデンそれぞれ言語、文学、社会、歴史を専門とする教員です。ちなみに、3・4年次ではもう一方の言語やノルウェー語、古アイスランド語も学習する機会が与えられます。

外国語の学習は元来積み重ねですから、予習・復習は絶対に欠かせません。十分予習した上で授業に臨まないと、学習効果は上がりません。デンマーク語とスウェーデン語は、ノルウェー語、アイスランド語、フェロー語とともに北ゲルマン語を構成しています（北ゲルマン語は英語、ドイツ語、オランダ語などと系統的に近い関係にあります。北欧地域圏で話されているフィンランド語やグリーンランド語はまったく別系統の言語です）。北ゲルマン語はフィンランドの一部を含めると北欧では約2千数百万人によって使用されています。このうち、デンマーク語、スウェーデン語、ノルウェー語の3言語の話者の間では、時には多少の困難があるにせよ、それぞれの言語を用いて相互に意思の疎通ができます。したがって、これらの1言語を会得すれば、他の2言語もかなりの程度まで理解できます。文字の特徴としては、英語で使われる26のアルファベットの他に、デンマーク語・スウェーデン語・ノルウェー語には、å（3言語共通）、æ、ø（デ、ノ）、ä、ö（ス）があります。北欧の言語を理解できる人は日本には多くありません。新入生はパイオニアの意気込みをもって励んでもらいたいと思います。そして、福祉制度や民主主義が確固と根をおろしている北欧の国々を深く知ることによって、世界を複眼的に展望し、

スウェーデン語専攻

🌐 スウェーデン語の習得に強い意欲をもち、それを駆使してスウェーデンの言語・文学・社会・歴史のいずれかを積極的に探求しようとする人。



カール・フォン・リネーのハンマルビー別邸（ウップサーラ郊外）にて

文化はもちろん、国際情勢もグローバルな視点から把握する能力を身につけてほしいと思います。

北欧を実地体験して理解する1つの手段として留学や現地での夏期語学講座参加も大いに考えられましょう。デンマーク語を専攻する学生たちの場合は、デンマーク政府の奨学金（9～10ヶ月間）による国費留学生として、毎年日本から5名デンマークに留学できますが、本学からは1～2名がこれに合格しています。また、2・3年生のときにデンマーク政府の短期奨学金（2週間）を得て、現地でデンマーク語の夏期講座に参加する学生も毎年3～4名います。さらに私費でフォルケホイスコーレという自由な学校に半年間、あるいは1年間留学する学生も若干名、また、夏季に私費でフォルケホイスコーレにおいてさまざまな種類のコース（デンマークの文化と言語、工芸、ダンス、音楽など）に参加する学生も多数います。

一方、スウェーデン語専攻でも、私費になりますが、主として3年次になると8月の中旬から翌年の6月中旬まで自ら進んでスウェーデンのフォルクフーグスコーラに留学する学生が多くいます。また、毎夏スウェーデンで開催される3週間程度のスウェーデン語サマーコースに大学の夏休みを利用して参加し、スウェーデン語をブラッシュアップする学生たちもいます。コースはスウェーデン政府の海外スウェーデン語教育支援機関 Swedish Institute にバックアップされているため、短期とはいえ内容は充実しています。ところで、この Swedish Institute より本学のスウェーデン語専攻は長年の日本におけるスウェーデン語教育・研究を高く評価され、「2007年スウェーデン語教育・研究大賞」を授与されました。

なお、本学はデンマークのコペンハーゲン大学ならびにスウェーデンのイエーテボリ大学と学生交流の協定を結んでおり、毎年コペンハーゲン大学、イエーテボリ大学へ若干名の学生が留学することができます。2010年には南デンマーク大学人文学部と部局間協定が結ばれ、デンマークの留学先の幅がさらに広がりました。

卒業生はメーカー、商社、金融機関、旅行社、マスメディア、北欧資本の大企業、公務員、教育研究機関、北欧各地の日本大使館や駐日の北欧の大使館などで活躍しています。また、卒業後さらにデンマークおよびスウェーデンの語学、文学、現代社会、歴史について研究を続けたい人は本学大学院言語文化研究科言語社会専攻へ進学することも考えられましょう。

みなさんが、今後日本における北欧学の最先端の役割を担うことを期待しています。

「ゴダー」
Goddag!

「ヘイ」
Hej!
(より日常的な挨拶)

学生の声

3年 西澤清華

日本で「スウェーデン」という言葉を耳にするのは、多くがノーベル賞や社会福祉や北欧デザインの話のときではないでしょうか。一方、日本で「スウェーデン語」という言葉を耳にすることはあまりないかもしれません。私も、「大学でスウェーデン語を専攻しています」と言うと、「どんな言語?」「なんだか難しそう」と言われることがよくあります。しかし、スウェーデン語は英語やドイツ語とよく似た言語で、文字もラテン文字を使っているため、初めての人でも安心して学ぶことができ、そのため上達も早いです。実際に私も教科書に書いてある簡単な文章はすぐに読めるようになりました。

また、授業は語学の授業だけではなく、スウェーデンやほかの北欧諸国の文学や歴史や社会についても学びます。これらのことを語学と並行して学ぶことで、スウェーデンの言語や歴史について、そしてほかの北欧諸国についての理解が深まります。私は言語に興味があってスウェーデン語専攻を選んだのですが、思う存分さまざまな北欧の言語を学ぶことができ、この専攻を選んで本当によかったと思っています。

スウェーデンや北欧に興味がある人、スウェーデン語に触れてみたい人はぜひ私たちと一緒に学んでみませんか。



留学生体験記

4年 武知 健人

「スウェーデンという国を肌で感じたい!」という思いを抱きながら、3年生の8月から10ヶ月間、私は私費で成人教育機関のフォルクフーグスコーラに留学しました。フォルクフーグスコーラはスウェーデン国内に多数存在し、提供されるコースも様々です。その中で私が選んだのはノルウェー国境に程近いグレップスタードという小さな港町にある学校でした。そこで私は、月曜日から水曜日まで高校レベルの社会、理科、英語、国語（スウェーデン語）等を学び、木曜日と金曜日は野外アクティビティについて専門的な知識を学んでいました。留学中はイエーテボリのラグビークラブにも所属しており、学校とクラブ、この両方で幅広い年齢層の人たちや移民を含めた様々な背景を持つ人たちと出会いました。こうした人々との交流を通して本を読むだけでは分からなかったリアルなスウェーデンを、一面ではありますが見る事が出来ました。

今、留学を振り返ると楽しい経験ばかりが思い出されますが、もちろん楽しいことばかりではありません。しかし、良いものも悪いものも、こうした経験全てが新鮮で、これらのおかげで留学を通して少し成長したと感じています。

まるでおとぎ話の世界のような風景が広がり、ゆったりとした時間が流れる国、スウェーデン。知っているようで意外と知らない国、スウェーデン。こんな魅力ある国に留学してみませんか。



ドイツ語専攻

ドイツ語を本格的に学びたい人、ドイツ語圏の歴史や文化を学ぶことをとおして現代ヨーロッパ社会への理解を深めたいと思う人、ドイツ語圏の国々で生活したり働きたいと思う人を歓迎します。



ドイツ語は、ドイツだけでなく、スイス、オーストリア、リヒテンシュタインなどの中部ヨーロッパの国々に住む1億人ほどの人々が母語として用いている言語です。その他にもチェコ、ハンガリー、ポーランド、ロシアなど東欧諸国においては、英語に劣らず重要視されています。数あるヨーロッパ諸言語の中でも、ヨーロッパの文化や学問の形成に深く関わってきた言語であるといえます。また現在、ドイツはEU（ヨーロッパ連合）の有力な一員であり、経済やエコロジーの分野で世界的レベルの重要な役割を果たしています。ドイツ語の学習を通してこのようなすぐれた文化や社会に触れることができます。

ドイツ語専攻では、日本人8名、ドイツ人1名の教員を擁し、その他にも10数名の日本人、ドイツ人、スイス人の講師がさまざまな授業を担当しています。ドイツ語専攻に入学すると、まず前期課程の2年間は文法・作文・購読・会話・LLなどの科目によって、ドイツ語とドイツ語圏の文化に関する基礎知識を学びます。ドイツ語の言語的知識とコミュニケーション能力を鍛錬する科目と並んで、講義や購読において、ドイツ語圏の社会・文化・言語などに関する知識を深め、3、4年生におけるドイツ語圏文化研究のための土台を築くことになります。

3、4年生（後期課程）では言語、文学、文化、思想、歴史などといった多彩な分野の演習科目が用意されており、自分に関心を持つ学問分野をベースキャンプとして選択し、そこで専門的知識を深め、学生生活の総決算である卒業論文を作成します。またこれと並行して関連する研究科目および会話や作文などのドイツ語運用能力を高める科目も必修科目となっています。このように整備されたプログラムと高い専門性を備えたドイツ語専攻を卒業した後は、ドイツ語のスペシャリストあるいはドイツ語圏の国々で活躍できるエキスパートとしての将来が皆さんを待ちうけています。

「ゲーテン・ターク」

Guten Tag!

学生の声



3年 河原 沙也加

ビールやソーセージといった豊かな食文化、ベンツやBMWが走る自動車大国、ベートーヴェンやワーグナーといったクラシック音楽の宝庫……。様々な魅力を持つドイツは、近年ヨーロッパの牽引国として政治的・経済的に重要な働きを担っています。一方で、この国は過去多くの出来事を経験してきました。特に戦間期及び戦後の歴史に興味を惹かれた私は、ドイツの近現代史を扱うゼミナールに所属し、勉学に励んでいます。

学外では、各国の大使になりきり国連会議をロールプレイングする「模擬国連」という活動に従事しています。一年生の冬には日本代表団の一員としてニューヨークの世界大会に出場し、世界中の学生と国際問題を議論しました。現在は運営側に回って派遣事業に携わっています。

外国語学部の二年生までの授業はある地域や国に特化したものが多いため、個別的かつ微視的な視点を得ることができました。数百もの国の人々が交わり、全体的かつ巨視的な見方が求められる国連という場を経験して感じるの、国際社会を考える際にそれぞれの授業で学んだ異なる「世界」の捉え方が生きている、ということです。

ドイツは、過去そして現在も多文化共生に関する多くの課題を抱えています。「異なる民族が一緒に笑合える世界を実現するためにはどうすればよいのか」。この国の歴史を通して、私はこの問いの答えを探していきたいと思っています。

あなたもドイツという国を軸にして、世界について学んでみませんか？



国連総会会議場にてペアの学生とともに

留学生体験記



4年 夏目 さつき

生きたドイツ語に触れ、ドイツ人学生が送るような大学生活を送ってみたいと思いドイツの学生の街、ハイデルベルク大学に留学しました。大学では留学生向けの語学の授業、語学コースに加え大学の講義も受けました。また世界から集まるドイツ語を学ぶ留学生と友達になり、刺激を受けました。大学は充実したスポーツ講座があり、運動を通して友達もでき、一石二鳥でした。

学生に人気のWG式（生活共同体）の大学寮でドイツ人学生2人のルームメイトとキッチンとバスルームをシェアする生活でした。当初日本語のように伝えたいことが言えない悔しさを感じました。ドイツ人と仲良くなって深い話をしたいと思いつづけたことがモチベーションとなりました。幸いにもルームメイトとはとても気が合い、毎日1時間は話し、ご飯を一緒に作ったり遊んだり姉妹のように仲良くなりました。休暇には友人の実家に伺い、郷土料理を頂き家族と触れ合う貴重な経験をしました。友人の昔話を聞くとバックグラウンドの違いを感じられました。生活習慣の違いで喧嘩もすることも何度かありましたが、これからも大切にしていきたい友人です。彼女たちには本当に感謝しています。

この1年間日本から出たことで普段気付かない日本の良さにもたくさん気づくことができました。留学は語学力、内面ともに自分を大きく成長させてくれる非常に実りの多いもので幸せでした。



英語専攻

実社会・世界で活躍できる高度な実践的英語運用能力を涵養するとともに、英米の言語、文学、文化、歴史、政経、国際ビジネスの各分野において専門的知識を身につけ、自らの主張を明確に発信しようとする学生を求めています。



グローバル化が進む現在、英語は、あらゆる領域においてインタラクティブに最新の情報を交換するコミュニケーションに不可欠な世界言語として、極めて重要な役割を果たしています。

英語専攻は、グローバルに活躍できる高度な実践的英語力と専門知識、そして自らの主張を明確に発信できるコミュニケーション能力を備えた人材を育成することを目標にしています。この目標に向かって、1、2年次に、徹底した語学実習により高い英語運用能力を養い、3年次進級要件となる基準レベル（TOEIC 730点、英検 準1級等）を上回る英語力を涵養するとともに、言語学的に見た英語の姿、英語圏の文学・文化についても幅広い知識を身につけます。進級後の3、4年次では、ネイティブ教員による Discussion の上級クラス、Essay Writing、同時通訳を含む多様な専攻語科目により、さらなる英語運用能力の強化を図ります。

また3年次から専門的研究授業を受講するとともに、文学・文化系、言語系、歴史・政経系の中からゼミを選択。卒業までの2年間、ゼミで、専門書購読、調査・研究、プレゼンテーション、討論により専攻領域への理解を深め、英語による卒業論文の執筆が研究の集大成となります。

外国語学部英語専攻の最大の特徴は、ブラクティカルとアカデミックの両面で卓越した英語運用能力があってはじめて成立する国際水準の最先端の学問を追究するという点です。そのためにも、皮相的な英語力ではなく、将来を切り開くうえで大きな糧となる思考能力、教養ある国際人が持つ高度なコミュニケーション能力の習得が期待されます。

前身の大阪外大の徹底した少人数教育によって鍛え上げられた英語専攻の卒業生は、商社、製造、金融、流通、運輸、マスコミ、観光、通訳・翻訳、官公庁、教育など、多方面で活躍しています。大学院に進学し、研究者として活躍している人材も少なくありません。優秀な卒業生を輩出してきた外大の伝統を受け継ぎ、いっそうの飛躍を遂げる英語専攻は、皆さんの入学を心よりお待ちしております。

Good Morning / Afternoon / Evening. Hello / Hi!

学生の声

3年 鈴木 州平

みなさん、こんにちは。今日は私が思う英語専攻の魅力や専攻生として必要な視座をお話したいと思います。

何といっても専攻の魅力は多様な講義でしょう。1、2年次における必修の授業はリスニングやリーディング、ライティングなどの各分野のスキルを磨き上げてくれます。また2年間に共に過ごす同じクラスの仲間は、かけがえのない存在になるはず。言語のみならず文学・文化や国際ビジネスなど、英語を取り巻くさまざまな分野を幅広く学びたいという方にとってはとても魅力的なカリキュラムといえるでしょう。ゼミでは調査・発表と徹底的な討論により多様な考えを知り自らの考察を深めるという大きな刺激を得ることができます。

私が英語専攻にとって必要と考えるのは、英語や英語圏のみならず世界に目を向けることです。現代においては、共通語である英語は世界各地で用いられ、英語圏を含めた地球全体は一体化を進めています。このような背景もあり、英語や英米の歴史・政経・文学・文化を考察するにあたっては、グローバルに俯瞰的な視点も求められています。英語専攻だからこそ世界を見つめる必要性があり、またそれが当専攻ならではの面白みの一つだと感じています。

英語専攻では、英語力を確かなものとした上で英語から世界を臨まんとする意欲的なみなさんの挑戦を待っています。



留学生体験記

4年 中川 理奈

私はイギリスのシェフィールド大学に10ヶ月間、交換留学をしました。まず学業面においては、到底読み切ることのできない量の読み物と大量のエッセイが毎週課されました。これに加えて、授業中にはプレゼンテーションやグループワーク、外部企業のコンサルティングプロジェクトに取り組みなければならなかったのも、大変苦労しました。しかし毎日図書館に通いつめて何とかこなしていった結果、語学力が向上したのはもちろん、専門知識を習得し、現地学生に勝る高評価を得ることが出来ました。

学業以外の面では、テニスサークルや人身売買の犠牲者を手助けする団体に所属し、幅広い活動に積極的に参加しました。そしてこれらを通じて沢山の友人をつくる事が出来ました。特に寮の同居人とは、毎晩食事を共にしたり、映画を一緒に観たりするほど仲を深めることが出来ました。

また、長期休暇に入るとヨーロッパへ旅に出かけました。旅行には楽しさだけでなく、沢山の学びがありました。異なる文化、宗教、人種などに直接肌で触れることによって数多くのことを吸収し、新たな発見を見出しました。

留学は、あらゆる側面において自分自身を最大限に成長させることができる絶好の機会です。当然そこには苦労がつきものですが、それを乗り越えたときの喜びは一入です。皆さんもぜひ勇気を出して留学への一歩を踏み出して下さい。



フランス語専攻

フランス語専攻では、フランス語やフランス語圏の文化（文学、思想、歴史、政治、経済、芸術など）に関心があり、その正しい知識と理解を深めたいと思っている人を求めています。



ロワール渓谷のシュノンソー城

フランス語は、中世の時代より現在に至るまで、芸術や思想を生み出す支えの言語として、ヨーロッパ文明において重要な役割を担ってきました。フランス文学は中世の「ロランの歌」などに代表される叙事詩や吟遊詩人達による叙情詩から、スタンダール、フローベール、ユーゴー、プルーストなどの近代、現代の小説に至るまで、世界でも他に類を見ない多様で豊かな創造的世界を生み出してきました。哲学者のデカルトやパスカル、ルソー、サルトルといった名前も皆さんにはおなじみのことと思います。フランス語を使って生み出された文学作品や哲学書は膨大な数にのぼります。

またフランス語は、フランス本国以外にも、ベルギー、スイス、カナダといった欧米諸国、あるいはカメルーン、コートジボアール、コンゴなど、かつてフランス領やベルギー領であったアフリカ諸国の一部でも公用語のひとつとして使われており、およそ1億の人たちがフランス語を話していると言われてます。そして国連をはじめ、EUやユネスコなどの国際機関においても公用語のひとつとなっています。あまりに英語偏重の今の日本ですが、世界中を飛び交う情報の中で、英語で流される情報はその一部でしかありません。複数の外国語を学んでおくことは、視野を拡げ、他者をよりよく理解し、今のこの世界における様々な事柄に関してより的確な判断を下すためにも、これからの私達にはぜひとも必要な作業なのではないでしょうか。

私達はフランス語とフランス語が培ってきた芸術や文化の魅力とその有用性を伝えるべく、中世の時代から現代に至る文学、歴史、文化、言語学などできる限り多種多様な分野の授業を用意して、皆さん方の期待に応えたいと考えています。



セーヌ河岸のルーブル宮

「ボンジュール」

BONJOUR!

学生の声



3年 伊藤 由莉

フランス語はとても魅力的です。芸術や料理、服飾、パレエやフェンシングなどともゆかりが深く、美しく精巧な文法を持ち、その響きは上品です。おなじみの英語とは似て非なるフランス語ですが、ある程度まで勉強すれば、より大きな世界に目が開き、フランスだけでなく、共通項の多いイタリアなどお隣の国の言葉や文化を理解する手助けをもしてくれます。私にとっては深みのあるスーパーモデルのような言語です。それをこちらではのびのびと自分のペースで学べます。

このページをご覧のみなさんは既にフランス語に決めた！という人もいれば、まだ迷われている方も多いと思います。自分の本当に勉強したいことをみつけるのは難しいですね。私も、幼少期に外国暮らしをしたせいでかえって外国語が食わず嫌いになってしまい、受験生の頃には勉強したい分野が決められず、実は最初はかりそめの場としてのフランス語専攻でした。しかし入ってから気づいたフランス語の本当の魅力、知性あふれる講師陣、そして最高の仲間恵まれ、ここで本格的にフランス語を学ぶ決意を固めることができました。以前は外国語が全然カッコイイとは思えなかったのが、今では本当に深くフランス語を愛しています。

迷っている方は入ってから悩んでも遅くないんです！自分をみつめ、周りの世界について深く考えを廻らせるのにも外国語学部は最適で最高のキャンパスです。ぜひ一緒に勉強しましょう！



留学生体験記



4年 佐々木 美和

私は3回生の9月から4回生の5月までの9か月間、ベルギーのルーヴァン・ラ・ヌーヴという町へ留学していました。留学先に着いた初めの頃は、小さな子供のようにしかフランス語の話せないアジア人である私を、わざわざ話し相手にしてくれる人はいませんでした。しかし、3か月ほどが過ぎた頃、初めて行ったカトリック教会で留学生や現地の学生との出会いがあり、料理を作ったりスポーツをしたりと、ともに過ごす時間が増えるようになりました。

人が心を開くには、同じ言葉や文化を共有する人同士でさえ、多くの時間がかかるものです。まして、私が一緒に過ごした親友たちの出身は様々で、ベルギーをはじめ、ポーランド、フランス、カナダにコンゴ、スペインにロシアにイギリスなど、言葉も文化も異なる人々たちでした。しかし留学生活の後半には、私たちはもう家族のようでした。お互いに自分の心にある傷、悩み事、夢を分かち合い、ふとしたことに笑い転げたり心の底から不満をぶつけたり、自分のことのように相手を想ってお互いに熱く祈り合ったりしていたのです。

留学前は、「海外経験も既にあるし…留学なんてあまり意味がないだろう」とすら思っていた私でしたが、でもそれは、本当に大きな間違いでした。皆さんにも、私のような偏狭な視野を壊してくれた素敵な体験を、ぜひ留学先で味わってみたいと願っています。



イタリア語専攻

多様性と伝統を大切にするイタリアの言語、文学、歴史、社会、文化等に強い関心を持ち、イタリア語の高度な運用能力を身につけて、日本とイタリア両国の相互理解に貢献しようという意欲のある人を歓迎します。



イタリア人で知っている名前を挙げてみてと言われたら、みなさん、どう答えるでしょうか。サッカー選手のトッティ、映画俳優／監督のロベルト・ベニーニ、靴のサルヴァトーレ・フェラガモなどの名前が挙がるでしょうか。ちょっと詳しい人なら、ダンテやラファエロ、ガリバルディ、マリア・カラス、あるいはベルルスコーニといった名前も挙がるかもしれませんね。

イタリアは、芸術、文学、音楽、ファッション、サッカー、映画など、様々な分野で個性的な才能を輩出してきた地域です。イタリア語を学ぶということは、このような多様な文化領域にアプローチするうえで非常に有効です。例えば、ミケランジェロの彫刻に興味があるという場合、ミケランジェロが書き残した手紙などを自分で読むことができれば、作品を理解するうえで大きな手がかりとなりますよね。また、劇や映画に関心があるという場合、台本・脚本を自分で読んで、役者の台詞の話し方やそのニュアンスまで理解することができれば、作品を見るうえで大いに役立つでしょう。

ただ、どんな言語にもいえることですが、一つの外国語を修得することは決して容易な話ではありません。イタリア語の場合、発音は非常に分かりやすいのですが、文法には少々厄介なところがあります。例えばイタリア語の名詞には、必ず男女の性別があります。treno（列車）は男性名詞、piazza（広場）は女性名詞といった具合に。面白いでしょ？

1・2年次には、そのような点を含めてイタリア語の基礎をしっかりと身に付けることになります。3・4年次には、習得したイタリア語を駆使して、様々な専門分野の授業に参加することになります。大学の授業は決して簡単ではありませんが、幸いなことに、語学の習得は、努力すれば必ずそれだけの報いがあります。みなさんと一緒に学ぶのを、私たちも楽しみにしています。



中部イタリア、世界遺産の街ヴィエンツァ

「ブォンジョルノ」

Buongiorno

学生の声

4年 佐藤 まり伽

Ciao a tutti! みなさんこんにちは！突然ですが、みなさんはイタリアと言われて何を思い浮かべますか？有名な建築物、陽気な人々…それにパスタ、ピザはやっぱり外せませんよね。イタリア語専攻ではその他にも様々なイタリアの魅力について、さらに深く知ることができます。

私たちの専攻では、1・2年次を通して文法や聞き取り、会話などの基礎能力を身につけます。そして3・4年次で歴史や文化など、より専門的なテーマを勉強します。「たったの2年で文法が習得できるの？」と不安になった方もいらっしゃるかもしれませんが、大丈夫です。イタリア語はローマ字と同じ要領で読めたり、英語に似た単語もあったりと、日本人にとっては非常に親しみやすい言語です。また、イタリア人の先生もたくさんいらっしゃるの、分からない所はもちろん、美味しいイタリアンレストランまで優しく丁寧に教えてくれますよ！

私はルネサンス美術に興味があったので、フィレンツェを拠点として10ヶ月間語学留学をしました。ダヴィデ像やピエタ、アテネの学堂を目の前にして、世界史の教科書とは比べ物にならない存在感に感動を覚えました。私の同期生もジェノバ、ヴェネツィア、ヴェローナ、サレルノと様々な地域で留学を経験しています。留学に行く目的は人それぞれですが、全員が大きく成長して帰ってきています。みなさんもぜひイタリア語専攻で、良い仲間と先生に囲まれて実りある大学生活を送ってください！



留学生体験記

4年 廣田 帆香

私は大学で3年間イタリア語を学んだ後、1年休学をしてヴェネツィアに10か月間留学をしました。イタリアの都市はそれぞれ独特の文化と魅力を持っているため、留学先の選択でとても迷いました。そこで先生や先輩に相談したり、同期の友達と情報を交換したりしながら、各都市を比較しました。そして最終的に旅行で訪れ魅了されたヴェネツィアで学ぶことを決めました。

平日の午前中は語学学校でイタリア語を学び、午後は学校主催のアクティビティに参加していました。アクティビティでは、ヴェネツィアを散歩しながら各建物の歴史を学んだり、イタリア人のマンマ（mamma：お母さん）に料理を教えてもらったりしました。休日は他の都市や他国に旅行をすることもありました。また、私はシェアハウスで同年代のイタリア人と暮らしていました。お互い手料理を振る舞ったり、一緒に映画を観たりと、彼女達との交流は楽しく、学びも多いものでした。

このように、留学をしたことで日本にいれば出会えなかった人や文化に触れることが出来ました。語学力はもちろん、様々な経験から多くのことを学びました。何より、今でも交流が続く友達が沢山できたことがとても嬉しいです。10か月の留学生活は間違いなく私の宝物です。今年度からイタリアに協定校もできましたので、皆さんの留学の幅はより広がると思います。是非、イタリア語専攻に入ってかけがえのない経験をしてほしいと思います。



スペイン語専攻

🌐 スペイン語を意欲的に習得し、学んだスペイン語を
ととしてスペイン語言語学はもとよりスペインの文学
や歴史、その他スペイン語圏の文化一般に関する知識
を積極的に身につけ、スペインおよびスペイン語世界
について総合的に理解したいと希望する人。

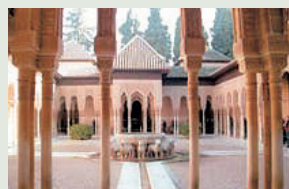


トレド全景

スペイン語は、スペインのみならず、アメリカ合衆国の一部およびメキシコから南米のチリ、アルゼンチンに至るまでの実に広大な空間（ブラジルを除く）で、3億人以上の人々によって話されている言語です。スペイン語の重要性は、国連の公用語の一つとされていることから明白です。話される地域が広く、話す人の数も多いという事実は、今日の国際社会において、私たち日本人がスペイン語と接する機会がますます多くなることを意味します。スペインおよびスペイン語世界は、様々な意味で大いなる可能性を秘めた魅力溢れる世界であり、「スペイン語はそれを知る人の未来を開く」と言っても過言ではありません。

もちろん、スペイン語を知っているだけでは十分ではありません。スペインおよびスペイン語世界の文化一般に関する知識を総合的に身につけていることが肝要です。しかし、それは並大抵の努力でできるものではありません。あくまでも努力目標であり、それに近づくために、まずは個々の分野の様々な知識を正確かつ着実に身につけていくことから始めなければなりません。スペイン語専攻の授業も、限られたスタッフと時間のなかで、そのために組まれています。皆さんに課せられた使命は、1・2年次において、スペイン語を正確に「読む、書く、聞く、話す」能力を身につけ、それを駆使しさらに磨きつつ、3・4年次において、スペイン語学やスペイン文学、スペイン史、イberoアメリカ文学などの専門的な多くの知識を学び、それを土台に各人が自己の価値観をととして独自のスペイン観もしくはスペイン語世界観を構築することです。

スペインおよびスペイン語世界を総合的に理解するには、少し控えめに言って、その文化一般を知るには、スペイン語の習得が不可欠であり、逆に、文化を知らなければ真の意味でのスペイン語の習得もあり得ないということを肝に銘じて下さい。そして、スペイン語世界のことなら何でも知ってやろうという貪欲な気持ちで、4年間の勉学に励んでもらいたいと思います。皆さんには、可能性と魅力溢れるスペイン語世界が開かれています。



アルハンブラ宮殿ライオンの中庭（グラナダ）



聖家族教会（バルセロナ）

「ブエノス ディアス」 「ブエナス タルデス」 Buenos días Buenas tardes (午前中から昼食までの挨拶) (昼食後から暮時までの挨拶)

学生の声



4年 江川 援

フラメンコ、パエリア、サッカー、サグラダ・ファミリア…みなさんがスペイン語専攻と聞いて思い浮かべるものはこれらのものでしょうか？実はスペイン語を学べばこれら以外にも様々なものを楽しむことができます。そんなスペイン語専攻の魅力を2つ紹介したいと思います。

1) 多くの地域で話されている

スペイン語が公用語の国は中南米を中心に20か国以上もあります。このためスペイン語のみで中南米の国々を旅行することができます。そして留学先の選択の幅も広がります。私の周りにもスペインだけではなくペルーなどの中南米の国々に留学した友達が多くいます。

2) スペイン語を学び、スペイン語で学ぶ

スペイン語専攻は、1・2年次で徹底的にスペイン語を学びます。三年次以降はその語学力をもとに専門的な原書を読み、自分の専門分野を研究し、また留学に行き自分の興味のある分野を学習します。実際に私もマドリードで観光学を学ぶため交換留学をし、現地ではスペイン人に交じって授業を受けました。数々の世界遺産を擁し有名な芸術家を輩出したスペイン。古代遺跡が点在するラテンアメリカ。陽気な人々と楽しい祭り。美味しい食べ物。でも、それだけではないスペイン語文化圏の深い魅力に、自分が習得したスペイン語の力を使って迫ることができるのが、このスペイン語専攻です。皆さんも一緒にスペイン語を学び、そしてそこから開ける世界を楽しみましょう。



留学生体験記



4年 小國 真子

私は、在学4年目に、スペインに一年間留学しました。選んだ留学先は、ワインで世界的に有名なりオハ州の州都ログローニョです。小さな街ですが、他の街に劣らないのはバル巡りの楽しさで、人気のバルが軒を連ねるエリアは週末にはお祭りかと思うほどの多くの人で賑わいます。

私はリオハ大学の外国人コースに通い、毎日、語学の授業を受けていました。日常生活では、学生寮を出てスペイン人と共同の下宿で暮らすなど、できるだけ現地に溶け込むようにしました。日本と比べて人と人との距離が近いので、バルで偶然に居合わせた人や友達の友達と知り合うことは日常茶飯事。どんどんいろんな人と話してスペイン語を吸収していきました。とっても早口なうえに、何人もが同時に話すというスペインの人たちの会話についていくのは大変でしたが、帰国するころには、冗談を言ってスペインの人たちを笑わせるのが楽しくなっていました。

また、留学中に休みがあるたび、スペイン中のあらゆる地域を訪れました。人柄・言語・食・自然など、地方ごとにその特色がはっきりと感じられ、いつも何か新しい発見があってスペインの魅力は尽きませんでした。

私には、スペイン語専攻で学んでいるからこそ得ることができた経験や人との関わりがたくさんあります。スペイン語の学びは、人生の楽しみをうんと広げてくれますよ。



ポルトガル語専攻

ポルトガル語の高度な運用能力を身につけたいという熱意のある人。ポルトガルやブラジルの言語や文学、文化や歴史に強い関心を持ち、外国語を駆使してそれらを探求しようという意欲のある人。



ブラジルのリオデジャネイロ市の景観 中央の岩山が「パン・デ・アスカル」

ポルトガルはユーラシア大陸の最西端に位置し、12世紀にイスラム教徒からの「国土回復運動」の過程で独立国としての第一歩を踏み出しました。その後、ポルトガルが「大航海時代」の先駆者として、アフリカ、アジア、アメリカ大陸へと進出した歴史はよく知られています。その結果、ポルトガル語は現在、ポルトガルだけでなくとどまらず、南アメリカのブラジル、あるいはアフリカの旧ポルトガル植民地5カ国（アンゴラ、モザンビーク、ギニアビサウ、カーボヴェルデ、サントメ・プリンシペ）、また21世紀になって独立した東ティモールなどでも使われており、その話者は2億人を超えています。

本学でポルトガル語を専攻する学生は、1・2年次には、外国人教師による会話の授業を含め、ポルトガル語を総合的に学習し基礎力を身につけます。その後、ポルトガル語圏の言語や文学、文化を勉強することになります。ポルトガルやブラジルというと、サッカーや音楽、格闘技などを思い浮かべる人が多いのですが、それらにとどまらず、各地域の歴史や文学、文化に幅広い関心をもってほしいと思います。また、各自が選択したテーマにしたがい自ら研究を深め、卒業論文を執筆するのも3・4年次の重要な活動になります。

多彩な地域で、数多くの人々によって話されるポルトガル語を勉強することは、視野を広げ、世界の多様な文化を理解し、いろいろな国の人々とコミュニケーションを行ううえで、大きな力になります。皆さんもそのようなポルトガル語を身につけて海外へと大きく飛躍してくれることを期待しています。



「大航海時代」の栄華をいまに伝えるリスボンのジェロニモス修道院（16世紀）

「オラー、コモ・エシュタシュ」 「オイ、コモ・エシュタシュ」

Olá, como estás? Oi, como estás?

〈ポルトガル〉

〈ブラジル〉

学生の声



2年 重本 湧気

オブリガード！この言葉をどこかで耳にしたことはありませんか？これはポルトガル語で「ありがとう」を意味する言葉です。「ポルトガル語」と聞いても、あまりイメージが湧かない人が多いかもしれませんが、ポルトガルはもちろん、実は2016年夏季オリンピックの開催地、ブラジルで主に話されている言語なのです。それに加え、BRICSに数えられるほどの経済成長、在日ブラジル人との関わりなどといった需要に対し、学べる大学数が少ない言語でもあるのです。

ブラジルといえば、サンバやカーニバル、サッカーなど、お祭り好きの陽気な国といったイメージがあると思いますが、当専攻の学生は、その国の性格を反映しているのか、いつも元気いっぱいである、外国語学部では珍しい男女比が1:1の専攻語で、その仲の良さは学部内でも有名です。

1年生はポルトガル語と教養、2年生ではブラジルやポルトガルの文化や歴史、文学について学んでいきます。中でもネイティブの先生の授業では、みんな生き生きとポルトガル語で会話をし、私たちの楽しみの安らぎの空間になっています。

また、夏まつりではブラジル料理の屋台を出したり、語劇祭では役者・スタッフ皆で力を合わせて、最高のお芝居を作り上げたりと青春イベントが盛り沢山です。2014年度からはブラジル人留学生たちとの交流会も開催しており、最高の環境が整っています。

さあ、一緒にポルトガル語の世界に浸りましょう！



留学生体験記



4年 新野 遼平

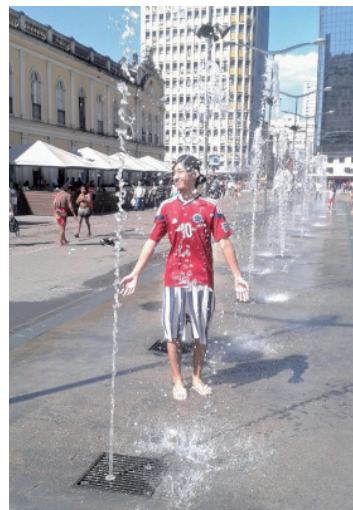
私は2年次の春休みから一年間大学を休学し、ブラジルは最南端、リオグランジドスル州の連邦大学へと留学をしていました。

留学初期のころの授業では、先生が言っていることがわからず、何度も自分の語学力のなさに意気消沈していましたが、その悔しさをバネに、日本にいる時以上に勉強に熱心に取り組み、満足のいくレベルまで自分の力を上げることができました。ブラジル人や他の様々な国からやってくる他の留学生達とかかわることで、彼らの意識の高さに影響され、大学で学ぶとはどういうことかということを改めて考えさせられた一年間でした。

また留学して半年ほど経った頃から、日本語学校で日本語の先生をさせていただきました。ブラジル人の生徒に対して初級文法を教えていたのですが、外国人がなぜ日本に興味を持ち、何を目的に日本語を勉強しているかを知ることができ、世界の中の日本がどういった存在であるのかに気付かされ面白かったです。

留学では語学力はもちろんのこと、チャレンジ精神や生活力も鍛えられます。一年間という期間自分のこれまでの常識が通用しない土地で生活することによって、自分を強く大きく成長させることができました。留学生活では周りに頼れる人も少なく、自分から何か行動を起こさないと物事が進まない、主体性が非常に重要になってきます。

ぜひ皆さんも日本では経験できないことを直接体で感じて、自分の歴史の一部にしてほしいです。



日本語専攻

日本語専攻では、外国語を身につけ、外国の事情を知った上で日本語・日本文化を客観的に捉えることに興味のある人、日本語教育に深い関心のある人、外国語を基礎にグローバルな観点から日本を世界に発信する意欲のある人を求めています。

日本語を母語として日常的に使っているのに、「外国語学部で日本語を学ぶとはどういうことなのか？」この感覚は分かりにくいかもしれませんね。

しかし、普段何気なく使っている日本語の中にもよく考えてみると不思議なナゾがたくさんあります。例えば外国人から「バス停に止まる」と「バス停で止まる」の違いを教えてと頼まれたら、どう答えたらよいでしょうか？そう、今や日本語に関わっているのは日本人だけではなくありません。国内・海外で日本語を「外国語」や「第二言語」として学ぶ人がたくさんいるのです。

話者としての自分が世界の中でどんな位置にあるかを考えて世界を認識する、世界の視点から日本語・日本文化を見つめ直す。これに応えられる人材の育成を目指しています。

日本語専攻では、日本語学・日本語教育学・日本文化学・言語学の領域にわたって、日本語を外国語のように観察し客観的に見る目を養います。特に日本語教育に関しては、教育実習の目的を兼ねた海外派遣や交換留学の機会も設けています。そのためにも、日本語専攻の学生はそれぞれ、20を超える言語の内一つを専攻言語として学ぶことになっています（*）。外国語をマスターした上で日本語を深く探求できるのは、外国語学部の日本語専攻だからこそできる最大のメリットです。

外国語を身につけて日本を世界に向けて発信したい・日本と世界との交流を通じて社会に貢献したい・外国語の言語能力を生かして日本語教育の場で活躍したい等々、グローバルな視点に立って日本語と関わり合いたいと願う皆さんに適した専攻です。さあ、いかがですか。日本語専攻のイメージがはっきりしてきましたでしょう。私たちの専攻に来ませんか。絶対にソンはさせません。

（*）専攻言語について

日本人学生については下記の24専攻言語の中から1つ。なお、外国人留学生については日本語。

＜専攻言語＞

中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、デンマーク語、スウェーデン語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語

学生の声



4年 久保 亜樹

「外国語学部なのに日本語？」「日本語なんて毎日使ってるからつまらない」と思った方もいるかもしれませんが、でも、ちょっと待ってください。私たちは高校までの国語の復習をしているわけではありません。外国人がどうやって日本語を勉強しているか知っていますか。「未然形、連用形…」なんて勉強はしていませんよ。友達とのおしゃべりにもいろいろなルールが詰まっているのを知っていますか。「は」と「が」の違いを知っていますか？「リングフランカ」という言葉を声に出して読むと、どこで音の高さが変わりますか。この言葉を知っている人も知らない人も「ラ」の後で変わったと思いますが、どうしてでしょうか。

挙げると切りがありませんが、普段使っている日本語なのに、意外と知らないことがたくさんありませんか。このような身近な疑問をきっかけに、私たちは日々学んでいます。

「面白いけど、外国語学部でそんなこと勉強しなくてもいいんじゃないの？」という声も上がるかもしれません。日本語専攻の学生は、各専攻言語も学んでいて、留学生もいるので、日本語と比べられますし、外国語として日本語を勉強している人の気持ちもわかるようになるので毎日飽きることがありません。それに、日本語教師として海外に行くという、語学留学とはまた違う経験もできます。

とてもお得でしょう？皆さんも日本語専攻で素敵な先生や仲間たちと素晴らしい4年間を過ごしてみませんか？



留学生体験記



4年 岡田 春奈

私は2014年9月から2015年3月まで、国際交流基金アジアセンターのプログラム「日本語パートナーズ」でタイ一期生として、現地校で日本語教育支援を行う機会を得ました。私が派遣されたタイ北部ウッタラディットは田舎ではありますが、生活に不便なことは全くなく、穏やかな空気の中でゆっくりとした時間を過ごすことができました。日本語の専攻クラスの授業で、タイの日本語教師と私でチームティーチングを行いました。2月末には本学の日本語専攻の先生と学生がタイを訪れ交流会を行いました。学生たちは現地の生徒の家にホームステイをして互いに楽しい時間を過ごし、別れの時には涙する場面も見られました。自分のかわいい生徒と同級生が楽しく交流している様子を見て私自身幸せでした。

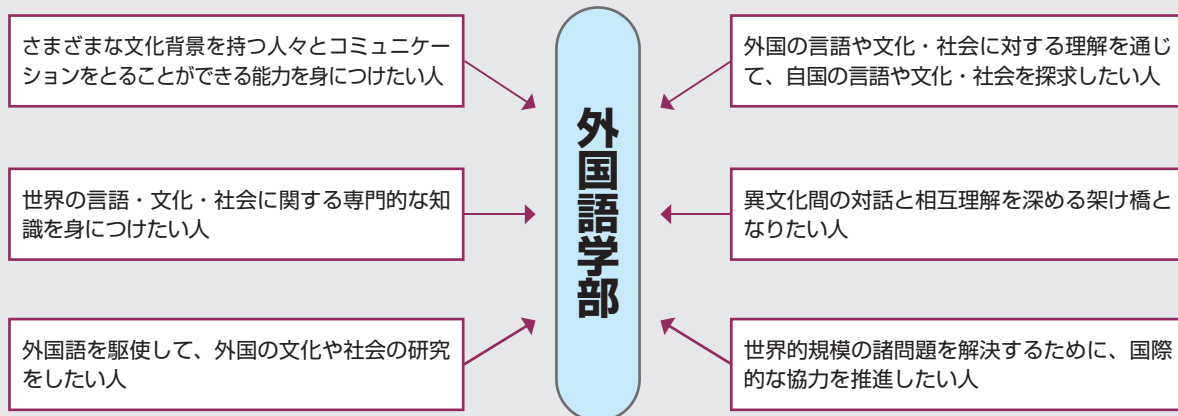
日本語教育に関わりたいという気持ちでこの事業に参加しましたが、実際はそれだけではありませんでした。部屋の中にげんこつ大の蛙が現れ、私の驚いた声を聞いた大家さんのおじさんが駆けつけ蛙を追い出してくれました。それから毎日のように、「今日は蛙はいないかい？」と笑いながら聞いてくるようになりました。そのような経験を通して、人に頼るのは恥ずかしいことではなく、むしろ人に頼る力こそ必須の力だと感じたのです。これはお金を出しさえすれば何でも買える日本にはなかなか気づけないことです。

タイの地方都市、ウッタラディットでの生活はかけがえのない思い出です。



アドミッション・ポリシー

外国語学部では、自国と外国の言語・文化・社会に強い関心を持つ、
次のような学生を受け入れます。



——言語を通して文化を学び、文化を通して言語を学ぶ——

世界25言語の専攻

外国語学部外国語学科は、25 に及ぶ世界の諸言語の専攻語教育課程を設け、世界の言語と言語を基底とする地域文化の教育研究の集積拠点として、幅広く、そして深く世界・文化・地域を学ぶことができます。

入学定員

外国語学部 580 名
3 年次編入学 10 名

授与学位 学士（言語・文化）

学部	学科	専攻
外国語学部	外国語学科	中国語専攻
		朝鮮語専攻
		モンゴル語専攻
		インドネシア語専攻
		フィリピン語専攻
		タイ語専攻
		ベトナム語専攻
		ビルマ語専攻
		ヒンディー語専攻
		ウルドゥー語専攻
		アラビア語専攻
		ペルシア語専攻
		トルコ語専攻
		スワヒリ語専攻
		ロシア語専攻
		ハンガリー語専攻
		デンマーク語専攻
		スウェーデン語専攻
		ドイツ語専攻
		英語専攻
		フランス語専攻
		イタリア語専攻
		スペイン語専攻
		ポルトガル語専攻
		日本語専攻

外国語学部のカリキュラム

◆カリキュラムの体系は、

大きく【全学共通教育科目】と【専門教育科目】に区分されます。

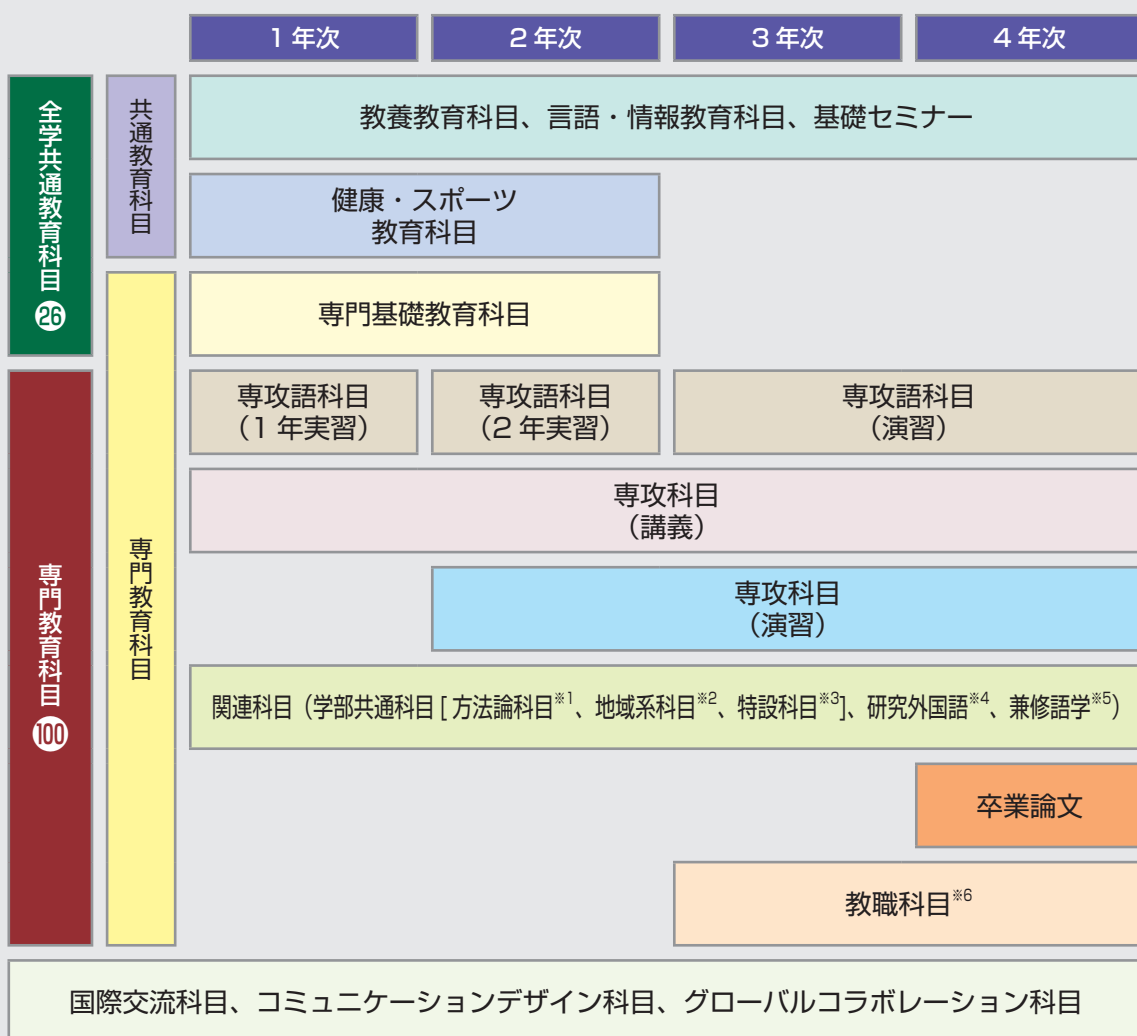
外国語学部では、全学共通教育科目として、「教養教育科目」、「言語・情報教育科目」、「基礎セミナー」、「健康・スポーツ教育科目」、「専門基礎教育科目」を合わせて26単位以上修得することとなっています。

専門教育科目には、「専攻語科目」、「専攻科目」、「関連科目」、「卒業論文」等が配置され、100単位以上を修得することとなっています。専門教育科目の根幹である「専攻語科目」は、1・2年次で履修する実習の科目と3・4年次で履修する演習の科目から構成されます。

なお、1年次に配当される授業は原則として豊中キャンパスで実施され、2年次以降に配当される授業は、箕面キャンパスで実施されます。



◆カリキュラムのあらまし



※ 1 言語学概論、文化概論、文学概論、芸術史、文化史、国際関係史 等

※ 2 東アジア言語文化概論、東南アジア社会文化概論、現代アラブ地域概論、アフリカ政治経済講義、北欧現代社会概説、英語国際ビジネスコミュニケーション入門、スペイン文学概論、日本語教育学講義 等

※ 3 キャリアデザイン論、異文化理解演習

※ 4 アイヌ語、オセアニア諸語、ヘブライ語、西アフリカ諸語、バントゥ諸語、オランダ語、カタルニア語、ガリシア語、バスク語 等

※ 5 中国語、朝鮮語、アラビア語、スワヒリ語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語

※ 6 卒業に必要な単位には算入されません。

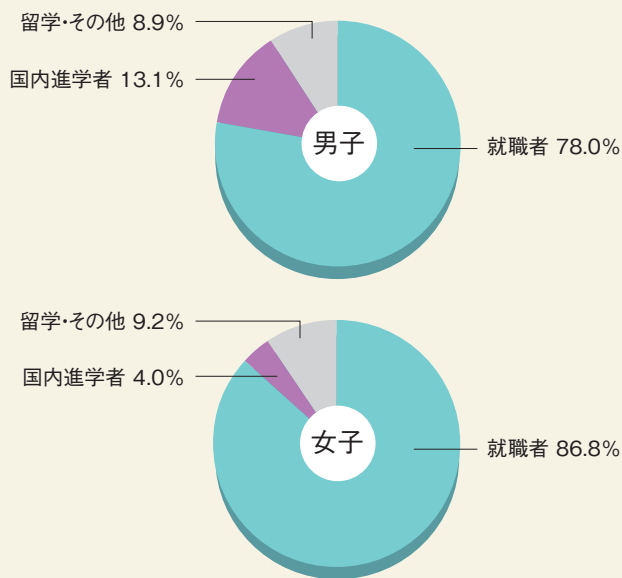
就職状況 外国語学部を卒業すると

外国語学部の卒業生は、在学時代に培った語学力とそれに基づいた豊富な知識を糧に、社会の様々な分野で活躍しています。大阪外国語大学時代より脈々と受け継がれた OB・OG との繋がりも卒業生が増すごとに、より強固なものになっています。

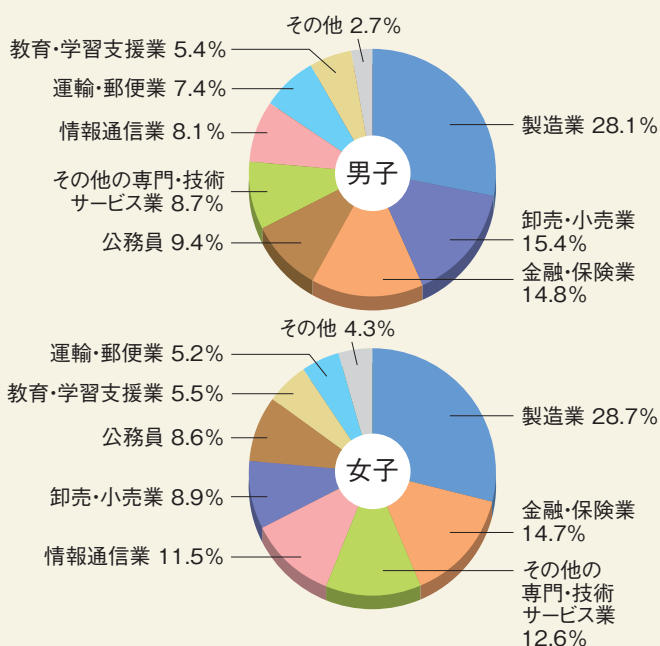
外国語学部卒業生のうち、約 80%が就職し、残る約 20%が国内の大学院への進学や海外の大学又は大学院へ留学をしています。大阪大学の他の学部と比べても就職希望者の多い学部と言えます。多くの外国語学部生が在学中に経験する短期・長期の留学は、彼／彼女らにとっては社会（世界）へはばたく助走なのかもしれません。

以下のように卒業生の就職先は多業種にわたっています。入学してから自己を見つめなおし、4 年間をかけて自分に合った進路を模索していく姿勢を見につけ、理想の就職ができるよう、外国語学部も全力でサポートします。

進路・就職状況 (2014 年度卒業生)



業種別 就職者数 (2014 年度卒業生)



外国語学部卒業生の主な就職先
(2014 年度卒業生)

製造業

JT
伊藤ハム
任天堂
ワコール
JFE エンジニアリング
Johnson & Johnson
武田薬品工業
神戸製鋼所
IHI
クボタ
コマツ
ダイキン工業
パナソニックヘルスケア
三菱重工業
川崎重工業
東芝
日立製作所
パナソニック
三菱電機
Honda
コベルコ建機
スズキ
トヨタ自動車

卸売・小売業

住友商事
三菱商事
三井物産
丸紅
伊藤忠商事
豊田通商
双日
ジーユー
イズミヤ
高島屋
イオンリテール

情報通信業

NTT データ
サイバーエージェント
リクルートホールディングス
時事通信社
小学館
日本経済新聞社
NEC
NTT 西日本
ソフトバンク
テレビ朝日
電通テック
朝日放送
読売テレビ
日本 IBM
日本放送協会 (NHK)
富士通

金融・保険業

みずほフィナンシャルグループ
ゆうちょ銀行
りそなホールディングス
京都銀行
三井住友銀行
三菱東京 UFJ 銀行
損保ジャパン
池田泉州銀行
トヨタファイナンス
三井住友海上火災保険
三井住友信託銀行
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券
三菱 UFJ 信託銀行
東京海上日動火災保険
日本生命保険相互会社
野村證券
SMBC 日興証券

宿泊・飲食・複合サービス業

プリンスホテル
くらこーポレーション
JTB 西日本
エイチ・アイ・エス
阪急交通社
オリエンタルランド
楽天
バンダイナムコゲームス
JTB ワールドバケーションズ
日本旅行
日本郵便

官公庁・教員 等

外務省
財務省税関
総務省
法務省
防衛省
衆議院事務局
大阪航空局
国立京都国際会館
大阪府庁
三重県庁
京都府役所
神戸市役所
大阪府役所
兵庫県警

大阪大学 交換留学制度

大阪大学外国語学部では、諸外国の119大学及び1大学連合との間で短期交換留学を行っています。この制度で留学すると、本学の授業料を納めておいて留学先の大学で学ぶという形になりますので、留学先の大学で授業料などを払う必要はありません。また、留学先の大学で修得した単位は、本学部の卒業に要する単位に算入することができます。(すべてとは限りません)。なお、奨学金(月額5～10万円:平成26年度実績)の支給を受けることができる場合もあります。

学生交流協定大学

●/大学間 ★/部局間 (平成27年7月現在)

★(注) ICI・ECP 日本政府と欧州連合(EU)の学生相互派遣プログラム

- 【ドイツ】**
- ミュンヘンルートヴィヒ・マクスミリアン大学
 - ミュンヘン工科大学
 - アーヘン工科大学
 - エアランゲン・ニュルンベルク・フリードリヒ・アレクサンダー大学
 - アウグスブルグ大学
 - ビーレフェルト大学
 - ルールボーフム大学
 - ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学
 - フランクフルト・アム・マイン
 - ゲッティンゲン大学
 - ベルリン工科大学
 - ★ハインリヒ・ハイネ(デュッセルドルフ)大学
 - ★ハイデルベルク大学
 - ★(注)

- 【ハンガリー】**
- エトヴェシュ・ローランド大学
 - ★カーロリ・ガーシュパール カルビン派大学
 - ★セゲド大学

- 【スウェーデン】**
- スウェーデン王立工科大学
 - イエーテボリ大学
 - ★(注)

- 【デンマーク】**
- コペンハーゲン大学
 - ★南デンマーク大学

- 【フィンランド】**
- オーボアカデミー大学

- 【スイス】**
- スイス連邦工科大学
 - ローザンヌ校
 - スイス連邦工科大学
 - チューリッヒ校
 - ★チューリッヒ大学

- 【オーストリア】**
- ウィーン大学

- 【オランダ】**
- デルフト工科大学
 - グローニンゲン大学
 - ★(注)

- 【ベルギー】**
- ルーヴァン・カトリック大学[UCL]
 - ★ルーヴァン・カトリック大学[KU Leuven]

- 【連合王国】**
- リーズ大学
 - シェフィールド大学
 - ノッティンガム大学
 - ★ロンドン大学

- 【フランス】**
- グルノーブル大学連合
 - ストラスブール大学
 - ピエール・マリ・キュリー大学
 - パリ国立高等化学学院
 - ボルドー大学
 - ★リール政治学院
 - ★エクスマルセイユ大学
 - ★トゥールーズ・ル・ミライユ大学

- 【ポルトガル】**
- ★リスボン新大学

- 【スペイン】**
- バリアドリード大学
 - マドリッドアウトノマ大学
 - ★サンティアゴ・デ・コンポステラ大学

- 【エジプト】**
- アレキサンドリア大学

- 【カタール】**
- カタール大学

- 【トルコ】**
- ★ボアジチ大学

- 【インド】**
- インド工科大学
 - ハイデラバード校
 - ★ジャワハルラール・ネルー大学
 - ★ティラク・マハラーシュトラ大学

- 【タイ】**
- チュラロンコン大学
 - マヒドン大学
 - カセサート大学
 - モンクット王トンプリ工科大学
 - チェンマイ大学
 - タマサート大学
 - ★コーンケン大学
 - ★シラバコン大学
 - ★ランシット大学

大阪大学外国語学部で学ぶことのできる言語

- 日本語
- 中国語
- 朝鮮語
- モンゴル語
- インドネシア語
- フィリピン語
- タイ語
- ベトナム語
- ビルマ語
- ヒンディー語
- ウルドゥー語
- アラビア語
- ペルシア語
- トルコ語
- スワヒリ語
- ロシア語
- ハンガリー語
- デンマーク語
- スウェーデン語
- ドイツ語
- 英語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- ポルトガル語

上記言語のほか、研究外国語として以下の言語を学ぶことができます。

広東語、アイヌ語、ウイグル語、古典チベット語、カレン語、現代チベット語、オセアニア諸語、モン＝クメール諸語、シャン語、サンスクリット語、パーリ語、ベンガル語、アラム語、シリア語、ガザフ語、ポーランド語、古代教会スラブ語、ウクライナ語、チェコ語、リトアニア語、オランダ語、ガリシア語、バスク語、カタリニア語、ラテン語、エスペラント語、満洲語、ヘブライ語、ハウサ語、ヨルバ語、リンガラ語、コンゴ語、ソクド語

海外留学について

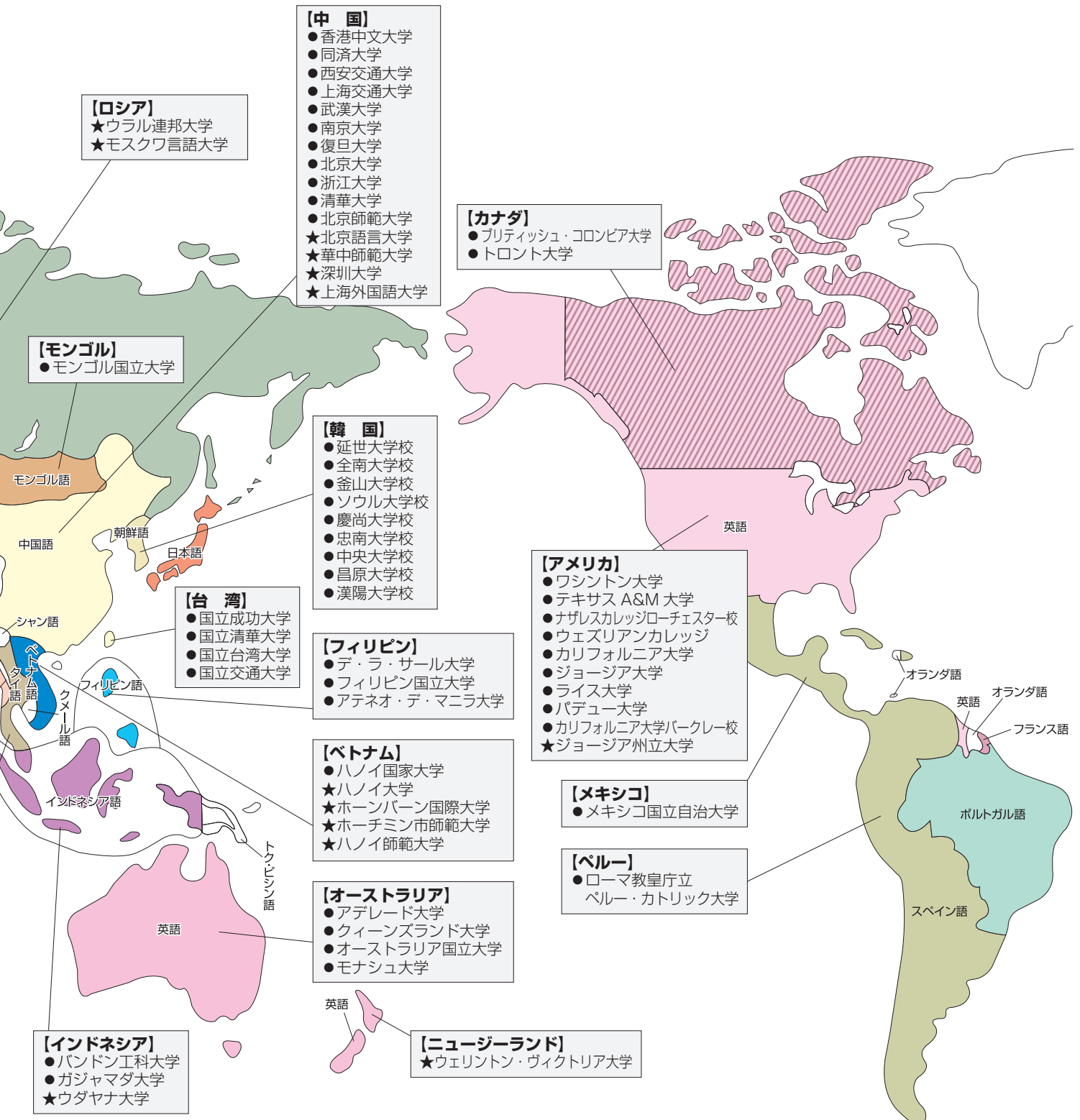
短期交換留学以外には次の方法などがあります。

●外国政府等の奨学金による留学／その他財団等の奨学金留学

毎年、約 30 カ国の政府または政府機関、及び民間団体が奨学金留学生を募集しています。大学に募集通知のあるものについては、その都度掲示します。それ以外の募集については、専攻の教員等に相談してみるとよいでしょう。

●私費による留学

自己負担で希望の大学に留学します。留学先の大学情報等については、自ら十分調査しておく必要があります。また、専攻の教員、先輩にも相談してみるとよいでしょう。



卒業生からのメッセージ

武田薬品工業株式会社

中村 敏弘 (2015年3月卒業)
ペルシア語専攻



可能性を無限に秘めた皆さんへ

皆さんこんにちは。2014年度卒業生の中村敏弘と申します。今パンフレットをご覧になっている皆さんはこの大阪大学外国語学部に対してどのようなイメージを持っておられるでしょうか。

私は高校時代、「英語が好き」という単純な理由と、「中東についてもう少し勉強してみたい」という漠然とした思いで本学部のペ

ルシア語専攻に入学しました。

在学中には大学内での学習だけでなく計2回のイラン留学を行い、「外」からだけでなく「内」からイランを見ることで、学びにおける視野が広がったと思っています。日頃から日本と欧米の視点だけでなくイランという第三の視点からニュースや報道を見ることができるように

なったことが、この外国語学部で得た大きな収穫です。

就職活動では、外国語学部での経験と自身の性格を考慮して次の2つのことを重視していました。①世界でのプレゼンス確立に注力している
②社会貢献度が高い

そのような中、今の会社と縁あって入社することになりました。

現在はまた研修中であり、製薬業界で働く上で必要な知識やスキルを日々学んでいます。外国語学部で学んだ「広い視野」が知識とスキルの習得や円滑な人間関係に寄与しています。また、イラン留学をはじめ自身の在学中の経験に上司や同期が興味を持ち、会話が弾むこともあります。

大阪大学外国語学部での学びには無限の可能性があると私は考えています。全く価値観の異なる人との会話、外国語の文献収集、現地でのフィールドワーク・・・語学を手段として役立たせる場所は多く、そこから得る学びもたくさんあります。同様に皆さんも無限の可能性を秘めておられます。大学生活はあっという間ですが、是非皆さんのオリジナルな大学生活を作ってみてください。皆さんの今後のご活躍を心よりお祈りしております。

株式会社日本経済新聞社

光井 友理 (2015年3月卒業)
アラビア語専攻



アラビア文字の美しさ、言語の難しさに惹かれて大学でアラビア語を学ぼうと思いました。人が好き、言葉が好き。それが転じてジャーナリストになりたいという夢を抱くようになり、4月にその夢に向かって一歩踏み出したところです。

総合大学、そして外国語学部という

ことで、様々な分野、国籍の人と日本にしながら出会い、触れ合うことができた4年間でした。また、外国を自分の足で歩いてみようという人も多く、私自身もアラビア語圏の地域だけでなくアジアやヨーロッパを訪れ、色々な国の文化や人々の生活を肌身で感じ学んできました。

大学は、先生が何もかも手とり足とり教えてくれる場所では

ありません。自分で学びたいこと、それを学ぶ方法を選んでいくところだと思います。最初は道具がいまいちかわからず戸惑いでしたが、おもしろいと思えば何でも挑戦してみることができるのが大学なのだなと気づき、その醍醐味を思いきり楽しむことができました。

アラブ・中東地域に関して学んでいくうちに、同地域のことを日本に伝える仕事がしたいと思うようになりました。将来、自分が学んだアラビア語を話す地域に暮らす人々の顔が見える報道ができるになりたいというのが今の私の夢です。大学で学んだこと、出会ったたくさんの人が、夢に向かって進んでいく力となっています。

皆さんが素敵な大学生活を送ることができるよう、応援しています。

株式会社小松製作所

牧原 夕貴 (2015年3月卒業)
スワヒリ語専攻



私が外国語学部スワヒリ語専攻を選んだ理由は、国際問題や国際協力に興味があり、紛争や貧困の起こっている地域としてよく取り上げられるアフリカについて学びたいと思ったからです。

しかし、スワヒリ語専攻で学ぶうちに、そのような諸問題だけではなく、豊かな文化やそこで営まれる人々の生活にも目が向くようになりました。はじめに抱い

ていたアフリカについての負のイメージとは異なる側面を知ることができたのです。一方で、異文化を理解しようとする中で、自分の文化を見つめ直す機会が多くありました。その結果、一見するとアフリカで特有に起きている事象や問題が、日本でも起きていることに気づかされました。また、異文化を学ぶ中で必ず突き当たる差別

について考えることは、自分の考えを無意識に定めているものは何なのかに思いを巡らせる機会になりました。このような経験を通して、与えられた情報に疑問を持つことや、異文化と自分なりにどのように向き合うかを学べたと思います。

私は4月より建設機械メーカーで働き始めました。この会社を選んだ理由は、扱っている建設機械がインフラ構築に重要なツールであるうえ、世界中に事業を展開しているので、グローバル規模で社会基盤に必要とされるものに携わることができると思ったからです。また、私の配属される部署は海外の現地法人とのやり取りが多くあります。外国語学部での学びや語学を活かして働けることを嬉しく感じます。

しかし、外国語学部では単に将来の仕事において役立つこと以上のものを得られると思います。自らの進むべき道を行く主体的で個性豊かな仲間とともに、アフリカという一つの地域を見つめ続けた学生生活は、私の貴重な財産となっています。皆さんに外国語学部の楽しさが少しでも伝わり、興味を持っていただけると幸いです。

住友商事株式会社

長尾 優香 (2015年3月卒業) スウェーデン語専攻



はじめまして、2010年度入学の長尾優香と申します。今回はこの場をお借りして、私が外国語学部で5年間学び感じたことを皆さんにお伝えしようと思っております。

私は、高校生の時に高校の姉妹校訪問としてスウェーデンに行ったことがきっかけでスウェーデン語に興味を持ち、スウェーデン語専攻に入学しました。大学1、2年は、専攻語の先生方からスウェーデン語の基礎を学び、3年目の夏から約1年間、スウェーデンへ留学をしました。誰よりも言語上達して帰りたい、今まで先輩方がやってこなかった新しいことをしたい、という思いを持ちスウェーデンに渡りました。

1 番苦労したことは、自分のアイデンティティーが発揮できないことでした。友人達とする会話の中で、日本との自分のキャラクター

の差を感じ、言語力のなさを実感しました。そこで、自分がどんな人であるのかを伝えようと思い、友達を誘って学校のイベントで趣味のダンスを披露しました。それをきっかけに、友人との交流が増え、最終的には地元新聞社での編集者としてのインターンを行うことができました。今振り返ると、現地での生活は、ある程度決められたカリキュラムに従い授業を受けますが、それ以外はまさに自由な時間ばかりでした。私は、上記のような漠然とした目標しか持っていなかったため、目標を達成するために、具体的にすべきことを最初に決められていたら、より有意義な留学生活になったのでは、と考えています。

大学生生活をどう色づけるかは、皆さんにかかっています。明確な目標を立てることで、何倍も濃い毎日を送れると思います。

外国語学部なら、世界に羽ばたくためのチャンスが転がっています。それを見つけて、自分にしかできない大学生活を送ってほしいと思っています。Jag hoppas er all lycka (皆さんの幸運を願っています) !

大阪府立 西淀川高等学校 教諭

木寺 由美 (2015年3月卒業) 日本語専攻



初めまして。2015年3月に卒業した木寺由美と申します。私は高校時代に受けた日本語と英語の違いをテーマにした授業をきっかけに、日本語という言語を深く学んでみたいと思い、日本語専攻に入学しました。当時よく売っていた書籍によって日本語教師という職業を知り、興味をもったことも日本語専攻を選んだ理由の一つです。

大学に入ってみると、外国語学部は留学生が非常に多く、毎日が異文化体験の連続でした。たとえば、インドネシアの女の子は好きな男の子がいても女の子から告白は絶対にできないと留学生から聞いて驚いたり、タイの留学生が日本生まれのキャラクターのグッズをたくさんもっていて日本のアニメが世界中で愛されていることを実感したり、韓国の男子留学生が女性のためにドアを開けて待つて

いてくれることに感動したり…。留学生から教えてもらったことは大きな財産です。日本語専攻の学生は海外へ日本語や日本文化を教えに行く人が多いのですが、私自身は海外に行って学びを得ることよりも身近にいる外国人との交流を大切にしている、留学生のチューターとなって日本語を教えたり、日本にやって来た外国人のホスト役をしたりしていました。それらの交流のなかで、日本語を客観的に捉え、日本語の面白さに気づくことができました。

現在、私は大阪府立西淀川高等学校で国語の教員をしています。日本語教師となって外国人に日本語を教えるよりも、大学で学んだことばの面白さを子どもたちに伝えたいと思い、この仕事を選びました。教員をしていると思うのは、異文化というのは外国と日本という対立の中にあるだけではないということです。今まで育ってきた環境が異なる子どもたち一人ひとりの間にも異文化はあり、それを理解することが大切であると感じています。大学での異文化体験はこうした形で今の仕事に活かしています。

皆さんも外国語学部で異文化を感じてみませんか。ここにやって来れば、きっと楽しい大学生活が待っていますよ。

外務省

村上 征太郎 (2015年3月卒業) 中国語専攻



みなさんはじめまして。2014年度卒の村上征太郎と申します。僭越ながら少しばかり経験談を書かせて頂きます。

まずはなぜ中国語を選んだのかということですが、はっきり言ってこれはたまたまです。中国に特別な思いがあったわけではなく、たまたまセンター試験の英語の成績が良く、たまたま担任が中国歴史マニアで、たまたま前期試験に失敗し

て英語の試験しかないこの大阪大学外国語学部を選びました。

しかしこの“たまたま”が僕の人生を大きく変えました。外国語学部の学生は多くが3年時に専攻言語の国へ留学するのですが、私は中国北京へ1年間留学しました。ちょうど当時(2012年9月)は尖閣諸島国有化のあった頃で、日中関係はあまり良いとはいえな

い時期でした。両親にも反対されましたし、実際に中国では、日中関係の悪化を感じることも多々ありました。そうした中で中国の方とぶつかることもありましたが、もういっそ日本に帰ってやろうかと思うこともありましたが、しかしそこで思ったのが、“こんな最悪な状況を自分の子どもや孫の世代に経験させたらあかん”ということでした。

北京留学当時に実際に大使館で働いていた現役外交官の方と知り合えたということもあり、帰国後外交官試験の勉強を始め、現在に至ります。

外務省では、1年間の本省研修を積み、その後2年間の在外研修(各研修語圏に行き、2年間現地の大学・大学院で学ぶことが出来る制度)を終えると、実際に外交官としてのキャリアが始まります。

外交官になると、総理通訳を始め、刺激的な仕事が多く待ち受けています。若い頃からこうした経験を積めるのもこの職種の大きな魅力です。ハードな職場にはなりますが、外交官という職業も視野に入れてみてはいかがでしょうか。

箕面キャンパス 施設・設備案内



① A棟 (左写真の右および右写真)

学生生活をサポートする機能の中枢。

1階には言語文化研究科・外国語学部箕面事務室（学務係・教務係・学生支援係）、箕面学生センター、なんでも相談室があります。在学生に対して多様な情報を提供しています。



学務係・教務係・学生支援係 窓口（A棟）

② B棟 (写真・中央)

1階にある学生談話室は、自習や食事をしたり、各々の時間を気ままに過ごすことができる自由な空間です。2階には、外国語学部箕面事務室（庶務係・研究協力係・経理係・契約係）があります。

③ E棟

開放的な空間デザインになっています。



④ 大阪外国語大学記念会館



⑤ 附属図書館 外国学図書館

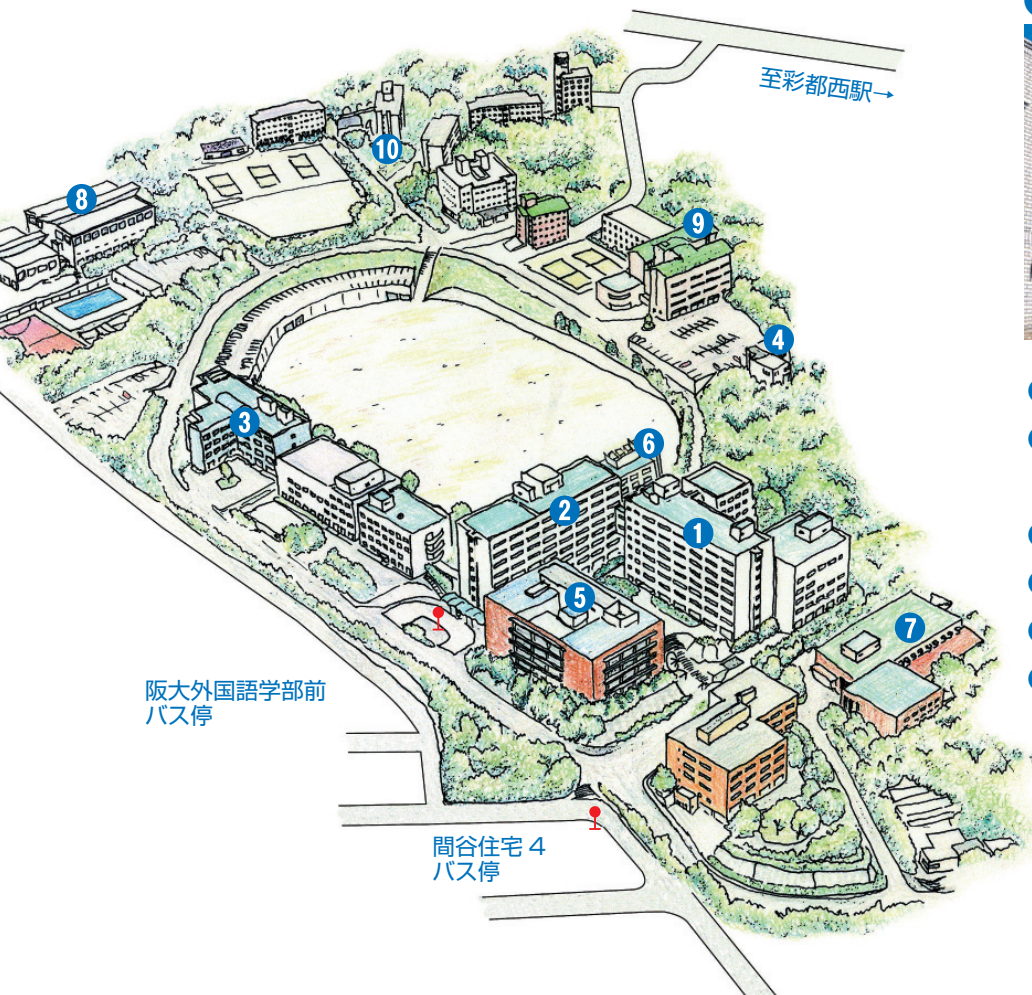
⑥ サイバーメディアセンター
総合研究棟

⑦ 箕面福利会館

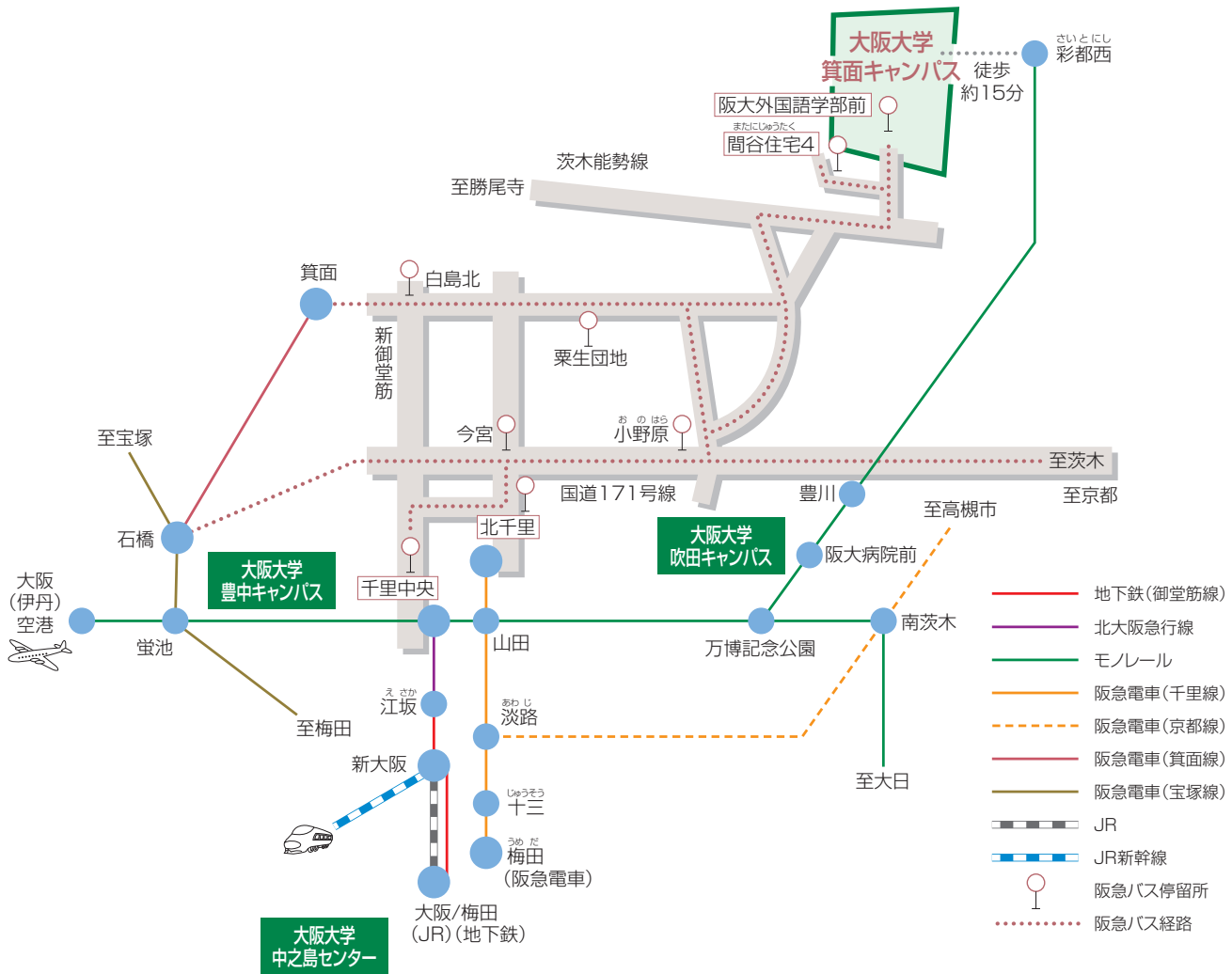
⑧ 箕面第1・第2体育館

⑨ 日本語日本文化教育センター棟

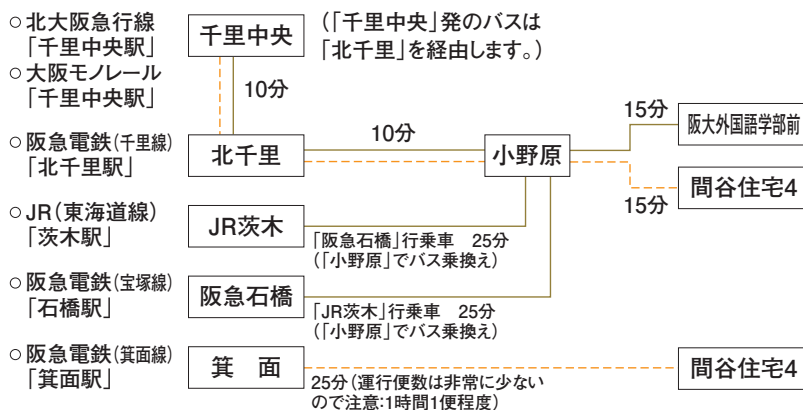
⑩ 学寮 等



箕面キャンパス 所在地経路図

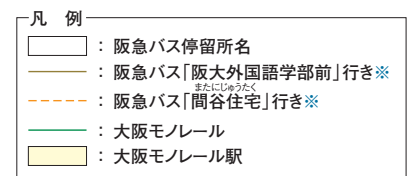


最寄り駅から箕面キャンパスまでの経路

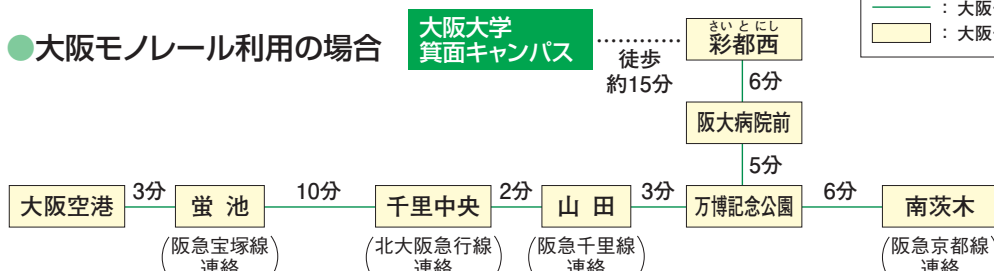


(※注意)
大阪大学の休業日(土・日・祝・春期/夏期/冬期休業期間)は、「阪大外国語学部前」行きのバス(—線)は運休しますので、「間谷住宅」行きのバス(---線)をご利用ください。

●学生専用便を運行
外国語学部の授業期間中は、1限から5限の授業時間に合わせて、JR 茨木駅、阪急箕面駅から学生専用便を運行しています。乗車時間は、およそ20分～30分です。



●大阪モノレール利用の場合



大阪大学 外国語学部

大阪大学 外国語学院

오사카대학 외국어학부

ОСАКАГИЙН ИХ СУРГУУЛИЙН ГАДААД ХЭЛНИЙ САЛБАР

FAKULTAS KAJIAN ASING UNIVERSITAS OSAKA

ອຳນວຍການສຶກສາພາສາຕ່າງປະເທດ ມະຫາວິທະຍາໄລໂອສາກາ

คณะภาษาต่างประเทศ มหาวิทยาลัยโอซากา

KHOA NGOẠI NGỮ, TRƯỜNG ĐẠI HỌC QUỐC GIA OSAKA

အိုစကာတက္ကသိုလ်နိုင်ငံခြားဘာသာဌာန

ओसाका विश्वविद्यालय वदिशी भाषा संकाय

شعبہ زبانہائے خارجہ، جامعہ اوساکا

كلية لدراسات الأجنبية جامعة أوساكا

دانشکده مطالعات خارجی دانشگاه اوساکا



OSAKA ÜNİVERSİTESİ YABANCI DİLLER FAKÜLTESİ

CHUO KIKUU CHA OSAKA KITIVO CHA MASOMO YA KIGENI

ФАКУЛЬТЕТ ИНОСТРАННЫХ ЯЗЫКОВ УНИВЕРСИТЕТА ОСАКА

OSZAKAI EGYETEM IDEGENNYELVI KARA

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITET

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITET

FAKULTÄT FÜR FREMDSPRACHEN AN DER UNIVERSITÄT OSAKA

SCHOOL OF FOREIGN STUDIES, OSAKA UNIVERSITY

FACULTÉ DES LANGUES ÉTRANGÈRES DE L' UNIVERSITÉ D' OSAKA

FACOLTÀ DI LINGUE STRANIERE DELL' UNIVERSITÀ DI OSAKA

FACULTAD DE ESTUDIOS EXTRANJEROS, UNIVERSIDAD DE OSAKA

FACULDADE DE ESTUDOS ESTRANGEIROS, UNIVERSIDADE DE OSAKA